

平成 24 年 6 月 5 日

【照会先】

大臣官房統計情報部人口動態・保健社会統計課
課長 小野 暁史（内線 7461）
課長補佐 村上 修司（内線 7475）
月報調整係（内線 7476）
（代表電話）03-5253-1111
（直通電話）03-3595-2813

平成 23 年 人口動態統計月報年計（概数）の概況

目 次

	頁
調査の概要	1
結果の概要	
1 結果の要約	2
2 出生	
(1) 出生数	4
(2) 合計特殊出生率	6
3 死亡	
(1) 死亡数・死亡率	8
(2) 死因	10
4 婚姻	14
5 離婚	16
統計表	
第1表 人口動態総覧の年次推移	20
第2表 人口動態総覧（率）の年次推移	24
第3表 出生数の年次推移，母の年齢（5歳階級）別	28
第4表 出生数の年次推移，出生順位別	28
第5表 死亡率（人口10万対）の年次推移，性・年齢（5歳階級）別	29
第6表 死亡数・死亡率（人口10万対），死因简单分類別	32
第7表 死因順位（1～5位）別死亡数・死亡率（人口10万対），性・年齢（5歳階級）別	36
第8表 人口動態総覧，都道府県（20大都市再掲）別	42
第9表 人口動態総覧（率），都道府県（20大都市再掲）別	44
第10表 主な死因の死亡数・死亡率（人口10万対），都道府県（20大都市再掲）別	46
参 考	
合計特殊出生率について	48
人口動態総覧（率）の国際比較	52
分母に用いた人口	52

この資料は、厚生労働省のホームページに掲載しています。

（掲載場所 URL） <http://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/jinkou/geppo/nengai11/index.html>

調 査 の 概 要

- 1 調査の目的 我が国の人口動態事象を把握し、人口及び厚生労働行政施策の基礎資料を得ることを目的とする。
- 2 調査の対象及び客体 「戸籍法」及び「死産の届出に関する規程」により届け出られた出生、死亡、婚姻、離婚及び死産の全数を対象としているが、本概況では平成 23 年に日本において発生した日本人の事象を客体とした。
- 3 調査の期間 平成 23 年 1 月 1 日～平成 23 年 12 月 31 日
- 4 調査の方法 市区町村長は、出生、死亡、婚姻、離婚及び死産の届書に基づいて人口動態調査票を作成する。
- 5 報告の系統

市区町村	保 健 所	都 道 府 県	厚生労働省
	└───┬───┘		
	保 健 所 を 設置する市	・ 特別区	
- 6 結果の集計 集計は、厚生労働省大臣官房統計情報部で行った。

＜利用上の注意＞

- 1 印刷公表している人口動態統計の資料は次のとおりである。

<p>人口動態統計速報 数値：調査票を作成した数</p> <p>集計客体：日本における日本人及び 外国人並びに外国における 日本人 (いずれも前年以前発生のもの を含む)</p> <p>公表：毎月（調査月の約2か月後）</p>	<p>人口動態統計月報 数値：概数</p> <p>集計客体：日本における日本人 (前年以前発生ものを除く)</p> <p>公表：毎月（調査月の約5か月後）</p> <p>※ ：毎年（年間合計） (調査年の翌年6月)</p>	<p>人口動態統計年報 数値：確定数（概数に修正を加えたもの）</p> <p>集計客体：日本における日本人 (日本における外国人、 外国における日本人及び 前年以前発生ものは別掲)</p> <p>公表：毎年（調査年の翌年9月）</p>
---	--	---

※本概況は中央の破線の部分である。

- 2 表章記号の規約

計数のない場合	—
統計項目のありえない場合	・
計数不明又は計数を表章することが不適切な場合	…
比率が微小 (0.05, 0.00005 未満) の場合	0.0, 0.0000
減少数 (率) の場合	△

なお、掲載の数値は四捨五入してあるので、内訳の合計が「総数」に合わない場合がある。

- 3 用語の説明

- 自 然 増 減：出生数から死亡数を減じたもの
- 乳 児 死 亡：生後1年未満の死亡
- 新 生 児 死 亡：生後4週未満の死亡
- 早期新生児死亡：生後1週未満の死亡
- 死 産：妊娠満12週以後の死児の出産
- 周 産 期 死 亡：妊娠満22週以後の死産に早期新生児死亡を加えたもの
- 合計特殊出生率：その年次の15歳～49歳までの女性の年齢別出生率を合計したもので、1人の女性が仮にそ
(期間合計特殊出生率)の年次の年齢別出生率で一生の間に生むとしたときの子ども数に相当する。(実際に1人の
女性が一生の間に生む子ども数はコーホート合計特殊出生率である。)

- 4 この概況で使用した数値は、平成 22 年以前は確定数である。
- 5 昭和 47 年以前は沖縄県を含まない数値である。昭和 19～21 年は資料不備のため省略した。
- 6 都道府県別の表章は、出生は子の住所、死亡は死亡者の住所、死産は母の住所、婚姻は夫の住所、離婚は別居する前の住所による。

結果の概要

1 結果の要約

(1) 出生数は減少

出生数は105万698人で、前年の107万1304人より2万606人減少し、出生率（人口千対）は8.3で、前年の8.5を下回った。

出生数を母の年齢（5歳階級）別にみると、34歳以下の各階級では前年より減少しているが、35歳以上の各階級では前年より増加した。

また、出生順位別にみると、第1子、第2子は減少したが、第3子以上は増加した。

(2) 死亡数は増加

死亡数は125万3463人で、前年の119万7012人より5万6451人増加し、死亡率（人口千対）は9.9で、前年の9.5を上回った。

死因別にみると、死因順位の第1位は悪性新生物、第2位は心疾患、第3位は肺炎となっている。全死亡者に占める割合はそれぞれ、28.5%、15.5%、9.9%であり、死亡者のおよそ3.5人に1人は悪性新生物で死亡したことになる。

(3) 自然増減数は減少

出生数と死亡数の差である自然増減数は△20万2765人で、前年の△12万5708人より7万7057人減少し、自然増減率（人口千対）は△1.6で、前年の△1.0を下回り、5年連続でマイナスとなった。

出生数が死亡数を下回った県は41道府県であり、出生数が死亡数を上回った県は、埼玉県、東京都、神奈川県、愛知県、滋賀県、沖縄県の6都県となっている。

(4) 死産数は減少

死産数は2万5755胎で、前年の2万6560胎より805胎減少し、死産率（出産（出生＋死産）千対）は23.9で、前年の24.2を下回った。死産率のうち、自然死産率は11.1で、前年の11.2を下回り、人工死産率は12.8で、前年の13.0を下回った。

(5) 婚姻件数は減少

婚姻件数は66万1899組で、前年の70万214組より3万8315組減少し、婚姻率(人口千対)は5.2で前年の5.5を下回った。

平均初婚年齢は夫30.7歳、妻29.0歳で、夫と妻ともに、前年より0.2歳上昇している。

(6) 離婚件数は減少

離婚件数は23万5734組で、前年の25万1378組より1万5644組減少し、離婚率(人口千対)は1.87で、前年の1.99を下回った。

表1 人口動態総覧

	実数			率		平均発生間隔	
	平成23年概数	平成22年確定数	対前年増減	平成23年概数値	平成22年確定値	平成23年概数値	平成22年確定値
出生	1 050 698	1 071 304	△ 20 606	8.3	8.5	分 秒 30"	分 秒 29"
死亡	1 253 463	1 197 012	56 451	9.9	9.5	25"	26"
乳児死亡	2 463	2 450	13	2.3	2.3	213' 24"	214' 32"
新生児死亡	1 147	1 167	△ 20	1.1	1.1	458' 14"	450' 23"
自然増減	△ 202 765	△ 125 708	△ 77 057	△ 1.6	△ 1.0	…	…
死産	25 755	26 560	△ 805	23.9	24.2	20' 24"	19' 47"
自然死産	11 946	12 245	△ 299	11.1	11.2	44' 00"	42' 55"
人工死産	13 809	14 315	△ 506	12.8	13.0	38' 4"	36' 43"
周産期死亡	4 314	4 515	△ 201	4.1	4.2	121' 50"	116' 25"
妊娠満22週以後の死産	3 490	3 637	△ 147	3.3	3.4	150' 36"	144' 31"
早期新生児死亡	824	878	△ 54	0.8	0.8	637' 52"	598' 38"
婚姻	661 899	700 214	△ 38 315	5.2	5.5	48"	45"
離婚	235 734	251 378	△ 15 644	1.87	1.99	2' 14"	2' 5"

	平成23年概数値	平成22年確定値
合計特殊出生率	1.39	1.39

注：出生・死亡・自然増減・婚姻・離婚率は人口千対。乳児・新生児・早期新生児死亡率は出生千対。死産率は出産(出生+死産)千対。周産期死亡率及び妊娠満22週以後の死産率は出産(出生+妊娠満22週以後の死産)千対である。

2 出生

(1) 出生数

平成23年の出生数は105万698人で、前年の107万1304人より2万606人減少した。

第1次ベビーブーム期（昭和22～24年）に生まれた女性が出産したことにより、昭和46～49年には第2次ベビーブームとなり、1年間に200万人を超える出生数であった。昭和50年以降は毎年減少し続け、平成4年以降は増加と減少を繰り返しながら、ゆるやかな減少傾向であったが、平成13年からは5年連続で減少した。平成18年は6年ぶりに増加したが、平成19年以降、減少、増加を繰り返し、平成23年は減少した。（図1）

出生率（人口千対）は、8.3で前年の8.5を下回った。

出生数を母の年齢（5歳階級）別にみると、34歳以下の各階級では前年より減少したが、35歳以上の各階級では増加となった。（表2-1）

出生順位別にみると、いずれの出生順位についても平成13年から5年連続で減少したが、平成18年には6年ぶりに増加した。平成19年及び平成20年は、第1子、第2子は減少し、第3子以上は増加、平成21年は全てで減少、平成22年は第1子が減少、第2子、第3子以上は増加、平成23年は第1子、第2子は減少する一方で、第3子以上は増加した。（表2-2）

第1子出生時の母の平均年齢は上昇傾向にあり、平成23年は30.1歳である。（表3）

図1 出生数及び合計特殊出生率の年次推移

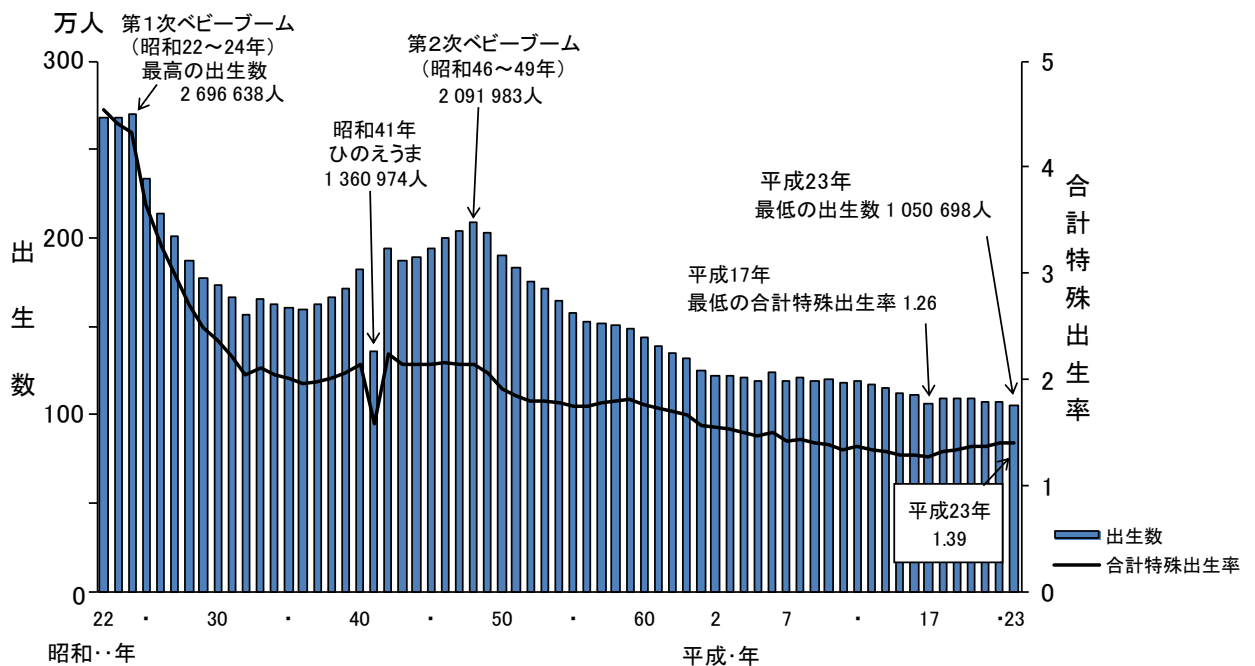


表 2 - 1 母の年齢（5歳階級）別にみた出生数の年次推移

母の年齢	出生数				対前年増減		
	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	21年-20年	22年-21年	23年-22年
総数	1 091 156	1 070 035	1 071 304	1 050 698	△ 21 121	1 269	△ 20 606
～14歳	38	67	51	44	29	△ 16	△ 7
15～19	15 427	14 620	13 495	13 273	△ 807	△ 1 125	△ 222
20～24	124 691	116 808	110 956	104 053	△ 7 883	△ 5 852	△ 6 903
25～29	317 753	307 765	306 910	300 350	△ 9 988	△ 855	△ 6 560
30～34	404 771	389 793	384 385	373 452	△ 14 978	△ 5 408	△ 10 933
35～39	200 328	209 706	220 101	221 245	9 378	10 395	1 144
40～44	27 522	30 566	34 609	37 435	3 044	4 043	2 826
45～49	594	684	773	802	90	89	29
50歳以上	24	20	19	41	△ 4	△ 1	22

注：総数には母の年齢不詳を含む。

表 2 - 2 出生順位別にみた出生数の年次推移

出生順位	出生数				対前年増減		
	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	21年-20年	22年-21年	23年-22年
総数	1 091 156	1 070 035	1 071 304	1 050 698	△ 21 121	1 269	△ 20 606
第1子	517 724	512 742	509 736	494 677	△ 4 982	△ 3 006	△ 15 059
第2子	402 152	390 073	390 212	383 619	△ 12 079	139	△ 6 593
第3子以上	171 280	167 220	171 356	172 402	△ 4 060	4 136	1 046

表 3 第1子出生時の母の平均年齢の年次推移

	昭和50年	60	平成7年	17	20	21	22	23
平均年齢	25.7 歳	26.7	27.5	29.1	29.5	29.7	29.9	30.1

(2) 合計特殊出生率

平成 23 年の合計特殊出生率は前年と同率の 1.39 となった。

昭和 40 年代は、第 2 次ベビーブーム期（昭和 46～49 年）を含めほぼ 2.1 台で推移し、昭和 50 年に 2.00 を下回ってからは低下傾向が続いた。平成 18 年に 6 年ぶりに上昇してからは 3 年連続上昇、平成 21 年は前年と同率であったが、平成 22 年は上昇し、平成 23 年は前年と同率の 1.39 となった。（統計表第 2 表、図 2）

年齢（5 歳階級）別にみると、15～29 歳の各階級では低下し、30～49 歳の各階級では上昇した。最も合計特殊出生率が高いのは、30～34 歳となっている。（表 4－1、図 2）

出生順位別にみると、第 1 子は低下したが、第 2 子、第 3 子以上が上昇した。（表 4－2）都道府県別にみると、沖縄県（1.86）、宮崎県（1.68）、鹿児島（1.64）、熊本県（1.62）、島根県（1.61）、佐賀県（1.61）等が高く、東京都（1.06）、京都府（1.25）、北海道（1.25）等大都市を含む地域が低くなっている。（表 5、図 3）

表 4－1 合計特殊出生率の年次推移（年齢階級別内訳）

年 齢	合 計 特 殊 出 生 率							対前年増減		
	昭和60年	平成7年	17	20	21	22	23	21年-20年	22年-21年	23年-22年
総 数	1.76	1.42	1.26	1.37	1.37	1.39	1.39	0.00	0.02	0.00
15～19 歳	0.0229	0.0185	0.0253	0.0256	0.0249	0.0232	0.0227	△ 0.0007	△ 0.0017	△ 0.0005
20～24	0.3173	0.2022	0.1823	0.1847	0.1779	0.1781	0.1710	△ 0.0068	0.0002	△ 0.0071
25～29	0.8897	0.5880	0.4228	0.4378	0.4320	0.4356	0.4349	△ 0.0058	0.0036	△ 0.0007
30～34	0.4397	0.4677	0.4285	0.4718	0.4756	0.4789	0.4836	0.0038	0.0033	0.0047
35～39	0.0846	0.1311	0.1761	0.2132	0.2217	0.2318	0.2390	0.0085	0.0101	0.0072
40～44	0.0094	0.0148	0.0242	0.0329	0.0354	0.0387	0.0408	0.0025	0.0033	0.0021
45～49	0.0003	0.0004	0.0008	0.0008	0.0009	0.0010	0.0011	0.0001	0.0001	0.0001

注：年齢階級別の数値は各歳別出生率を合計したものであり、算出に用いた出生数の15歳及び49歳にはそれぞれ14歳以下、50歳以上を含んでいる。

表 4－2 出生順位別にみた合計特殊出生率の年次推移

出生順位	合 計 特 殊 出 生 率							対前年増減		
	昭和60年	平成7年	17	20	21	22	23	21年-20年	22年-21年	23年-22年
総 数	1.76	1.42	1.26	1.37	1.37	1.39	1.39	0.00	0.02	0.00
第 1 子	0.7611	0.6607	0.6240	0.6712	0.6782	0.6835	0.6786	0.0070	0.0053	△ 0.0049
第 2 子	0.6950	0.5209	0.4643	0.4933	0.4889	0.4956	0.4996	△ 0.0044	0.0067	0.0040
第 3 子以上	0.3078	0.2410	0.1717	0.2023	0.2013	0.2082	0.2150	△ 0.0010	0.0069	0.0068

図2 合計特殊出生率の年次推移（年齢階級別内訳）

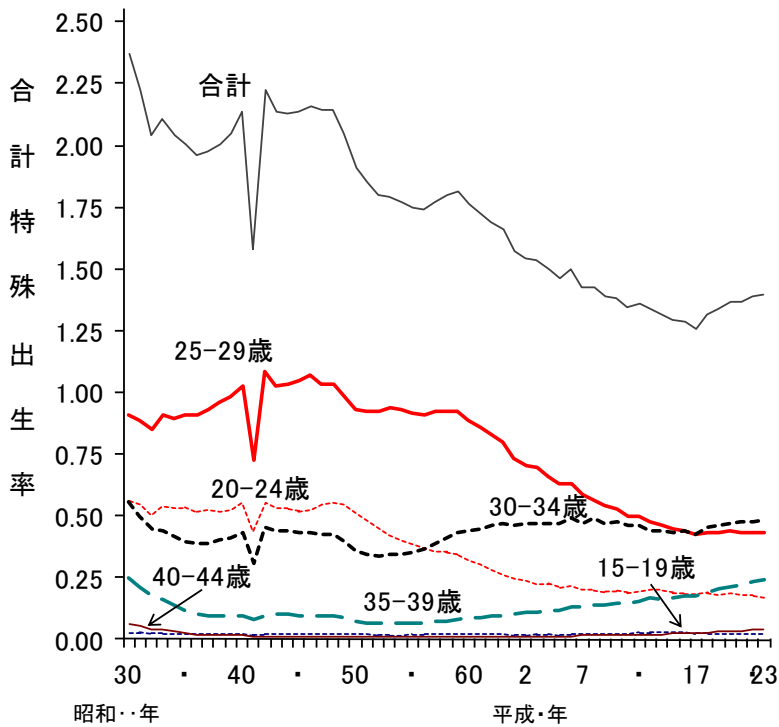


図3 都道府県別合計特殊出生率（平成23年）

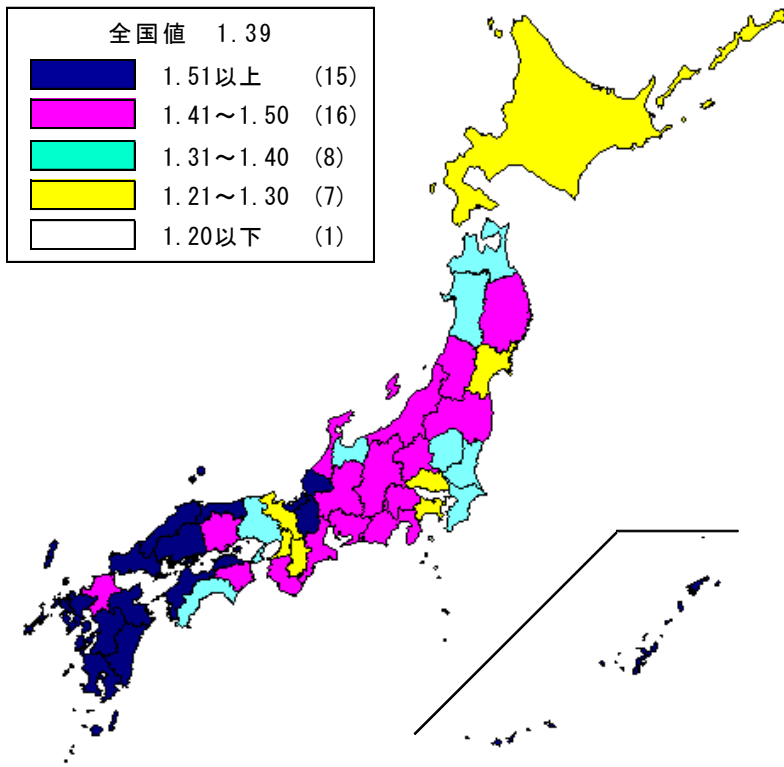


表5 都道府県別にみた合計特殊出生率

都道府県	平成23年	平成22年
全 国	1.39	1.39
北 海 道	1.25	1.26
青 森 県	1.38	1.38
岩 手 県	1.41	1.46
宮 城 県	1.25	1.30
秋 田 県	1.35	1.31
山 形 県	1.46	1.48
福 島 県	1.48	1.52
茨 城 県	1.39	1.44
栃 木 県	1.38	1.44
群 馬 県	1.41	1.46
埼 玉 県	1.28	1.32
千 葉 県	1.31	1.34
東 京 都	1.06	1.12
神 奈 川 県	1.27	1.31
新 潟 県	1.41	1.43
富 石 県	1.37	1.42
山 川 内 県	1.43	1.44
福 井 県	1.56	1.61
山 梨 県	1.41	1.46
長 野 県	1.50	1.53
岐 阜 県	1.44	1.48
静 岡 県	1.49	1.54
愛 知 県	1.46	1.52
三 重 県	1.47	1.51
滋 賀 県	1.51	1.54
京 都 府	1.25	1.28
大 阪 府	1.30	1.33
兵 庫 県	1.40	1.41
奈 良 県	1.27	1.29
和 歌 山 県	1.49	1.47
鳥 取 県	1.58	1.54
島 根 県	1.61	1.68
山 口 県	1.48	1.50
広 島 県	1.53	1.55
山 西 県	1.51	1.56
徳 島 県	1.43	1.42
香 川 県	1.56	1.57
愛 媛 県	1.51	1.50
高 知 県	1.39	1.42
福 岡 県	1.42	1.44
佐 賀 県	1.61	1.61
長 崎 県	1.60	1.61
熊 本 県	1.62	1.62
大 分 県	1.55	1.56
宮 崎 県	1.68	1.68
鹿 児 島 県	1.64	1.62
沖 縄 県	1.86	1.87

注：分母に用いた人口は、
 平成23年は、全国は各歳別日本人人口、
 都道府県は5歳階級別総人口。
 平成22年は、全国は各歳別日本人人口、
 都道府県は5歳階級別日本人人口。

3 死亡

(1) 死亡数・死亡率

平成23年の死亡数は125万3463人で、前年の119万7012人より5万6451人増加し、死亡率（人口千対）は9.9で、前年の9.5を上回った。

昭和30年以降は70万人前後で推移していたが、昭和50年代後半から増加傾向となり、平成2年以降は80万人台、平成7年以降にはほぼ90万人台となり、平成15年からは100万人をこえ、平成19年からは110万人台となり、平成23年は120万人台となっている。

昭和50年代後半から75歳以上の高齢者の死亡が増加しており、平成20年からは死亡数の約3分の2を占めている。（図4）

年齢（5歳階級）別に死亡率（人口10万対）をみると、55～59歳と95～99歳の階級で前年より低下しており、その他の各年齢階級では前年より上昇している。（表6-1）

死亡率性比（男の死亡率／女の死亡率×100）を年齢（5歳階級）別にみると、全年齢階級で100以上となっており、男の死亡率が高いことを示している。また、55～84歳の各年齢階級では、男の死亡率が女の死亡率の2倍以上となっている。（表6-2）

図4 死亡数及び死亡率の年次推移

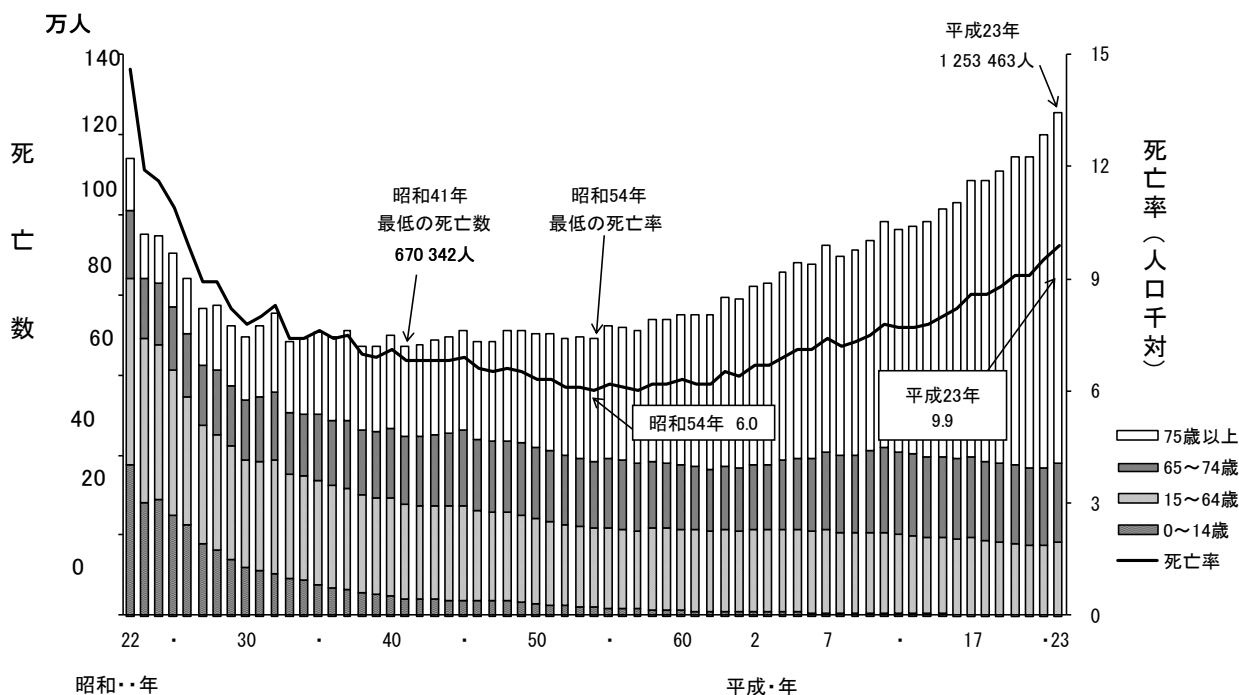


表6-1 年齢（5歳階級）別にみた死亡数・死亡率（人口10万対）

年齢階級	死亡数			死亡率		
	平成23年	平成22年	対前年増減	平成23年	平成22年	対前年増減
総数	1 253 463	1 197 012	56 451	993.4	947.1	46.3
0～4歳	3 624	3 382	242	69.0	64.4	4.6
5～9	750	480	270	13.8	8.6	5.2
10～14	725	553	172	12.4	9.4	3.0
15～19	1 738	1 422	316	28.9	23.6	5.3
20～24	2 965	2 753	212	48.1	43.7	4.4
25～29	3 682	3 437	245	52.6	48.0	4.6
30～34	4 921	4 837	84	62.3	58.9	3.4
35～39	7 963	7 555	408	83.4	78.0	5.4
40～44	11 186	10 162	1 024	122.2	117.5	4.7
45～49	14 983	14 532	451	191.2	182.4	8.8
50～54	22 443	22 014	429	297.4	289.3	8.1
55～59	37 455	39 326	△ 1 871	454.2	454.3	△ 0.1
60～64	72 100	66 096	6 004	681.9	657.4	24.5
65～69	82 032	83 087	△ 1 055	1 049.1	1 009.5	39.6
70～74	113 113	110 248	2 865	1 581.8	1 577.8	4.0
75～79	167 686	163 088	4 598	2 739.1	2 730.8	8.3
80～84	220 103	211 257	8 846	4 911.9	4 841.7	70.2
85～89	222 785	207 287	15 498	8 513.0	8 473.8	39.2
90～94	162 027	151 959	10 068	15 016.4	14 806.4	210.0
95～99	79 764	75 386	4 378	25 241.8	25 328.5	△ 86.7
100歳以上	19 573	17 513	2 060	41 644.7	39 892.0	1 752.7

注：総数には年齢不詳を含む。

表6-2 性・年齢（5歳階級）別にみた死亡数・死亡率
（人口10万対）・死亡率性比（平成23年）

年齢階級	死亡数		死亡率		死亡率性比
	男	女	男	女	
総数	656 692	596 771	1 068.6	922.0	115.9
0～4歳	1 876	1 748	69.7	68.2	102.2
5～9	404	346	14.5	13.0	111.5
10～14	440	285	14.6	10.0	146.0
15～19	1 132	606	36.7	20.7	177.3
20～24	1 988	977	62.9	32.5	193.5
25～29	2 391	1 291	67.0	37.6	178.2
30～34	3 141	1 780	78.2	45.9	170.4
35～39	4 976	2 987	102.5	63.7	160.9
40～44	7 102	4 084	153.1	90.5	169.2
45～49	9 481	5 502	240.0	141.5	169.6
50～54	14 794	7 649	391.5	203.0	192.9
55～59	25 201	12 254	615.4	295.1	208.5
60～64	49 800	22 300	959.7	414.2	231.7
65～69	56 551	25 481	1 512.9	624.4	242.3
70～74	75 164	37 949	2 263.3	990.8	228.4
75～79	105 181	62 505	3 939.4	1 810.7	217.6
80～84	124 243	95 860	7 067.3	3 520.4	200.8
85～89	98 636	124 149	11 955.9	6 928.0	172.6
90～94	51 431	110 596	20 409.1	13 373.2	152.6
95～99	18 749	61 015	31 778.0	23 649.2	134.4
100歳以上	3 036	16 537	50 600.0	41 342.5	122.4

注：1）総数には年齢不詳を含む。

2）死亡率性比＝男の死亡率/女の死亡率×100

(2) 死因

① 死因順位

平成 23 年の死亡数・死亡率（人口 10 万対）を死因順位別にみると、第 1 位は悪性新生物で 35 万 7185 人、283.1、第 2 位は心疾患 19 万 4761 人、154.4、第 3 位は肺炎 12 万 4652 人、98.8、第 4 位は脳血管疾患で、12 万 3784 人、98.1 となっている。（表 7）

主な死因の年次推移をみると、悪性新生物は、一貫して上昇を続け、昭和 56 年以降死因順位第 1 位となり、平成 23 年の全死亡者に占める割合は 28.5%となっている。全死亡者のおよそ 3.5 人に 1 人は悪性新生物で死亡したことになる。

心疾患は、昭和 60 年に脳血管疾患にかわり第 2 位となり、その後も死亡数・死亡率ともに上昇傾向であったが、平成 21 年に減少した。平成 22 年から再び上昇し、平成 23 年の全死亡者に占める割合は 15.5%となっている。

肺炎は昭和 50 年に不慮の事故にかわって第 4 位となり、上昇と低下を繰り返しながら上昇傾向を示してきたが、平成 23 年は脳血管疾患にかわり第 3 位となり、平成 23 年の全死亡者に占める割合は 9.9%となっている。

脳血管疾患は、昭和 26 年に結核にかわって第 1 位となったが、昭和 45 年をピークに低下しはじめ、昭和 56 年には悪性新生物にかわり第 2 位となった。昭和 60 年には心疾患にかわって第 3 位となり、その後も死亡数・死亡率ともに低下傾向であったが、平成 23 年には、肺炎にかわり第 4 位となり、全死亡者に占める割合は 9.9%となっている。（図 5、図 6）

図 5 主な死因別死亡数の割合（平成 23 年）

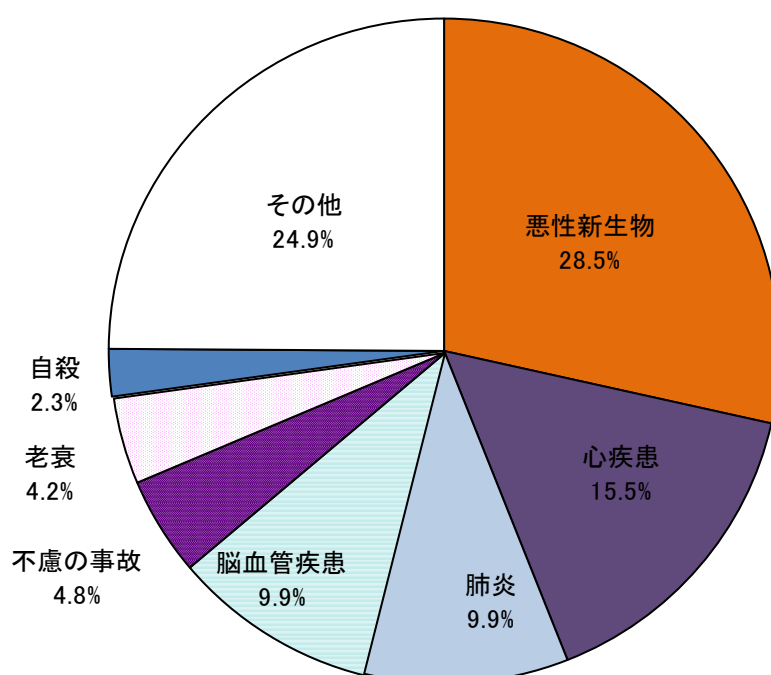
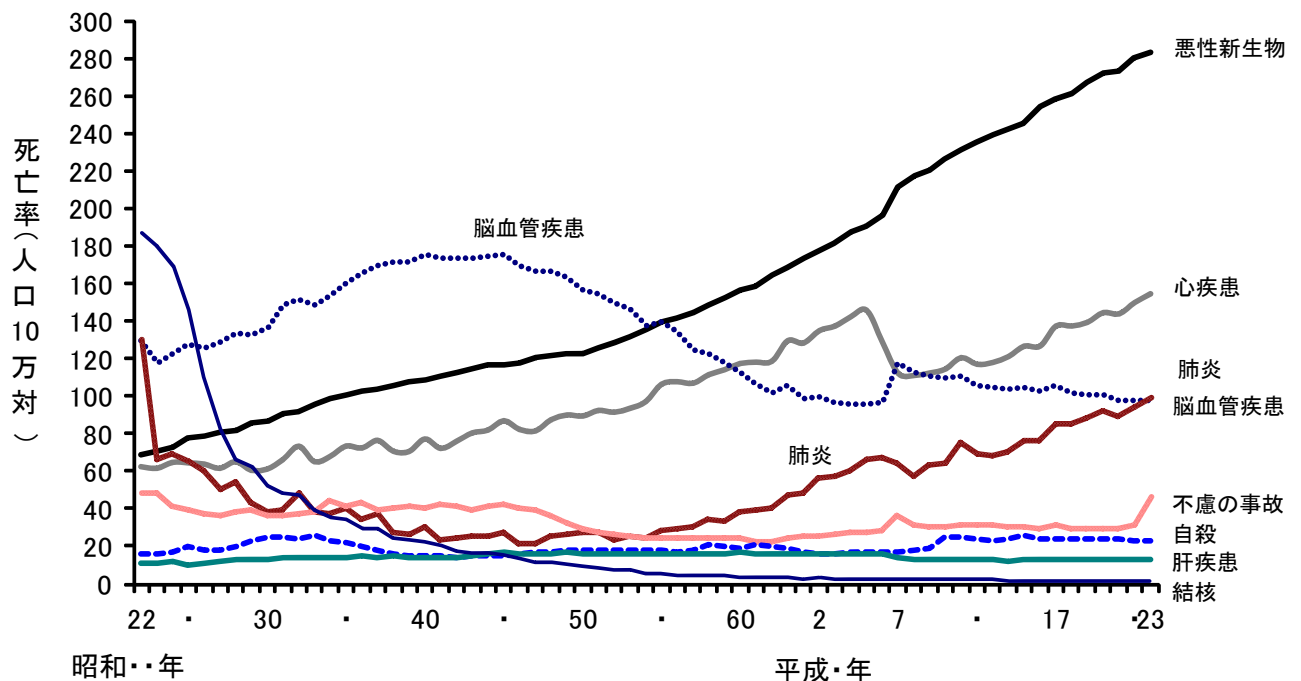


表7 性別にみた死因順位別死亡数・死亡率（人口10万対）

死 因	平成23年						平成22年	
	総 数		男		女		総 数	
	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率
全 死 因	1 253 463	993.4	656 692	1068.6	596 771	922.0	1 197 012	947.1
悪 性 新 生 物	(1) 357 185	283.1	(1) 213 109	346.8	(1) 144 076	222.6	(1) 353 499	279.7
心 疾 患	(2) 194 761	154.4	(2) 91 188	148.4	(2) 103 573	160.0	(2) 189 360	149.8
肺 炎	(3) 124 652	98.8	(3) 66 547	108.3	(4) 58 105	89.8	(4) 118 888	94.1
脳 血 管 疾 患	(4) 123 784	98.1	(4) 59 577	96.9	(3) 64 207	99.2	(3) 123 461	97.7
不 慮 の 事 故	(5) 59 596	47.2	(5) 32 540	53.0	(6) 27 056	41.8	(6) 40 732	32.2
老 衰	(6) 52 207	41.4	(8) 12 509	20.4	(5) 39 698	61.3	(5) 45 342	35.9
自 殺	(7) 28 874	22.9	(6) 19 892	32.4	(8) 8 982	13.9	(7) 29 554	23.4
腎 不 全	(8) 24 493	19.4	(9) 11 562	18.8	(7) 12 931	20.0	(8) 23 725	18.8
慢性閉塞性肺疾患	(9) 16 620	13.2	(7) 12 983	21.1	(16) 3 637	5.6	(9) 16 293	12.9
肝 疾 患	(10) 16 362	13.0	(10) 10 623	17.3	(12) 5 739	8.9	(10) 16 216	12.8

注：1）（ ）内の数字は死因順位を示す。
 2）女の9位は「大動脈瘤及び解離」で死亡数は7 385、死亡率は11.4である。
 3）女の10位は「糖尿病」で死亡数は6 915、死亡率は10.7である。
 4）「結核」は死亡数が2 162、死亡率は1.7で第25位となっている。
 5）「熱中症」は死亡数が942、死亡率は0.7である。

図6 主な死因別にみた死亡率の年次推移



注：1）平成6・7年の心疾患の低下は、死亡診断書（死体検案書）（平成7年1月施行）において「死亡の原因欄には、疾患の終末期の状態としての心不全、呼吸不全等は書かないでください」という注意書きの施行前からの周知の影響によるものと考えられる。
 2）平成7年の脳血管疾患の上昇の主な要因は、ICD-10（平成7年1月適用）による原死因選択ルールの明確化によるものと考えられる。

② 年齢別死因

平成 23 年の死因を性・年齢（5 歳階級）別に構成割合で見ると、5～14 歳では不慮の事故及び悪性新生物が、15～34 歳では自殺及び不慮の事故が多く、35～49 歳では悪性新生物及び自殺が多く、年齢が高くなるにしたがって、悪性新生物の占める割合が多くなり、男では 65～69 歳で、女では 55～59 歳でピークとなる。それ以降は、男女とも心疾患、脳血管疾患、肺炎の占める割合が、年齢が高くなるとともに多くなっている。男では 90 歳代で肺炎が最も多く、女では 85～99 歳で心疾患、100 歳以上では男女ともに老衰が最も多くなっている。（図 7-1）

また、1 歳未満の乳児死亡数は 7 年連続で 3000 人を下回り、その死因別構成割合をみると、「先天奇形、変形及び染色体異常」の占める割合が多い。（図 7-2）

図 7-1 性・年齢階級別にみた主な死因の構成割合（平成 23 年）

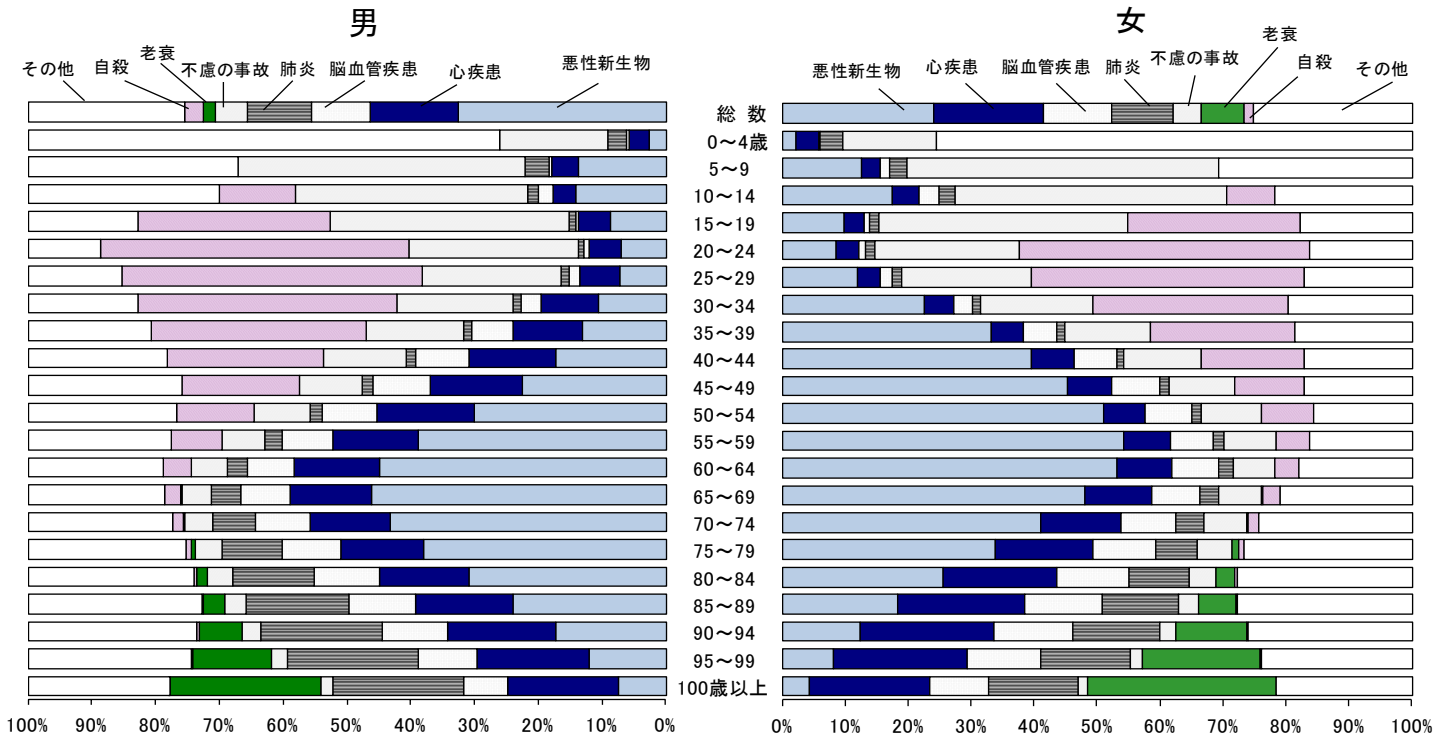
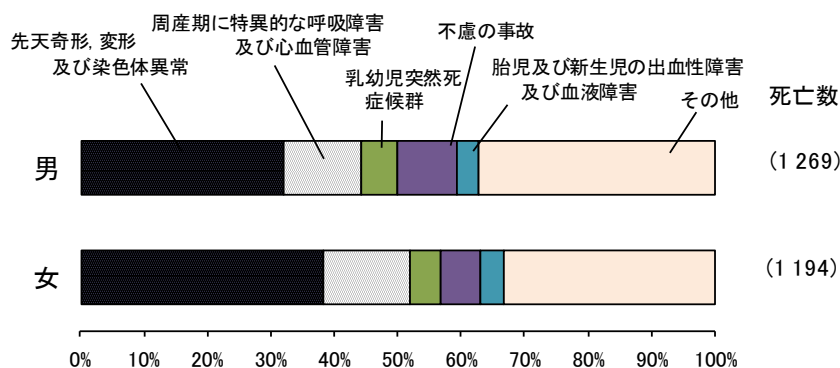


図 7-2 乳児死亡の主な死因の構成割合（平成 23 年）



③ 部位別にみた悪性新生物

悪性新生物について死亡数・死亡率を部位別にみると、男の「肺」は上昇傾向が著しく、平成5年に「胃」を上回って第1位となり、平成23年の死亡数は5万767人、死亡率（人口10万対）は82.6となっている。

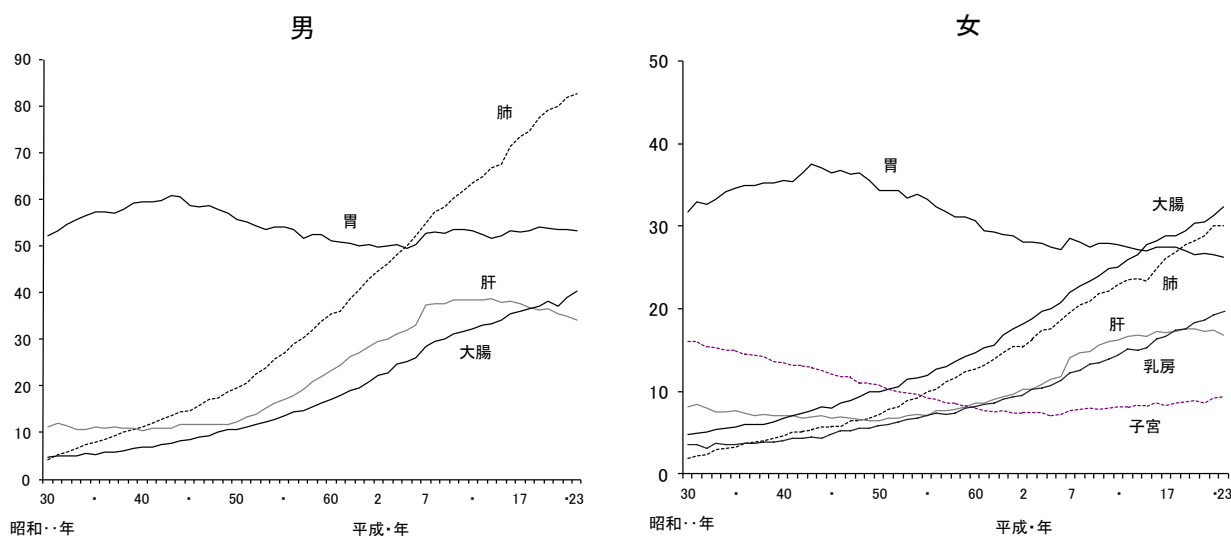
また、女の「大腸」と「肺」は上昇傾向が続いており、「大腸」は平成15年に「胃」を上回って第1位となり、平成23年の死亡数は2万879人、死亡率（人口10万対）は32.3となっている。（表8、図8）

表8 悪性新生物の主な部位別にみた死亡数・死亡率（人口10万対）

部位	昭和40年	50	60	平成7年	17	20	21	22	23
男									
胃	28 636	30 403	30 146	32 015	32 643	32 973	32 776	32 943	32 776
肝	5 006	6 677	13 780	22 773	23 203	22 332	21 637	21 510	20 965
肺	5 404	10 711	20 837	33 389	45 189	48 610	49 035	50 395	50 767
大腸	3 265	5 799	10 112	17 312	22 146	23 419	22 762	23 921	24 855
女									
胃	17 749	19 454	18 756	18 061	17 668	17 187	17 241	17 193	17 041
肝	3 499	3 696	5 192	8 934	11 065	11 333	11 088	11 255	10 902
肺	2 321	4 048	7 753	12 356	16 874	18 239	18 548	19 418	19 505
乳房	1 966	3 262	4 922	7 763	10 721	11 797	11 918	12 455	12 730
子宮	6 689	6 075	4 912	4 865	5 381	5 709	5 524	5 930	6 071
大腸	3 335	5 654	8 926	13 962	18 684	19 592	19 672	20 317	20 879
男									
胃	59.4	55.6	51.1	52.6	53.0	53.7	53.4	53.5	53.3
肝	10.4	12.2	23.3	37.4	37.7	36.4	35.3	34.9	34.1
肺	11.2	19.6	35.3	54.8	73.3	79.1	79.9	81.8	82.6
大腸	6.8	10.6	17.1	28.4	35.9	38.1	37.1	38.9	40.4
女									
胃	35.5	34.4	30.6	28.5	27.4	26.6	26.7	26.5	26.3
肝	7.0	6.5	8.5	14.1	17.1	17.6	17.2	17.4	16.8
肺	4.6	7.2	12.7	19.5	26.1	28.3	28.8	30.0	30.1
乳房	3.9	5.8	8.0	12.2	16.6	18.3	18.5	19.2	19.7
子宮	13.4	10.7	8.0	7.7	8.3	8.8	8.6	9.1	9.4
大腸	6.7	10.0	14.6	22.0	28.9	30.4	30.5	31.3	32.3

注：大腸の悪性新生物は、結腸の悪性新生物と直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物を示す。

図8 悪性新生物の主な部位別死亡率（人口10万対）の年次推移



4 婚姻

平成23年の婚姻件数は66万1899組で、前年の70万214組より3万8315組減少し、婚姻率（人口千対）は5.2で前年の5.5を下回った。

婚姻件数は昭和40年代後半には100万組を超え、婚姻率（人口千対）も10.0以上で、婚姻ブームを呈した。その後は組数・率とも低下傾向となり、昭和63年以降は増加に転じ、平成5年以降は増減を繰り返しながらほぼ横ばいで推移していた。平成14年から4年連続で減少し、平成18年以降は増減をくりかえしていたが、平成21年以降は減少し続けている。（図9）

初婚の妻の年齢（各歳）別婚姻件数の構成割合を10年ごとにみると、ピーク時の年齢が上昇するとともに、その年齢が占める割合は低下し、高い年齢の割合が増加している。また、年齢（5歳階級）別にみた妻の初婚率（女性人口千対）をみると、前年に比べ20代、30代で低下している。（表9、図10）

平成23年の平均初婚年齢は、夫30.7歳、妻29.0歳で、夫、妻ともに前年より0.2歳上昇している。これを都道府県別にみると、平均初婚年齢が最も低いのは夫・妻とも福島県で、夫29.6歳、妻27.8歳であり、最も高いのは夫・妻とも東京都で、夫31.9歳、妻30.1歳である。

（表10-1、表10-2）

再婚の割合をみると、夫は18.8%で前年より0.3ポイント上昇し、妻は16.4%で前年より0.2ポイント上昇している。（表11）

図9 婚姻件数及び婚姻率の年次推移

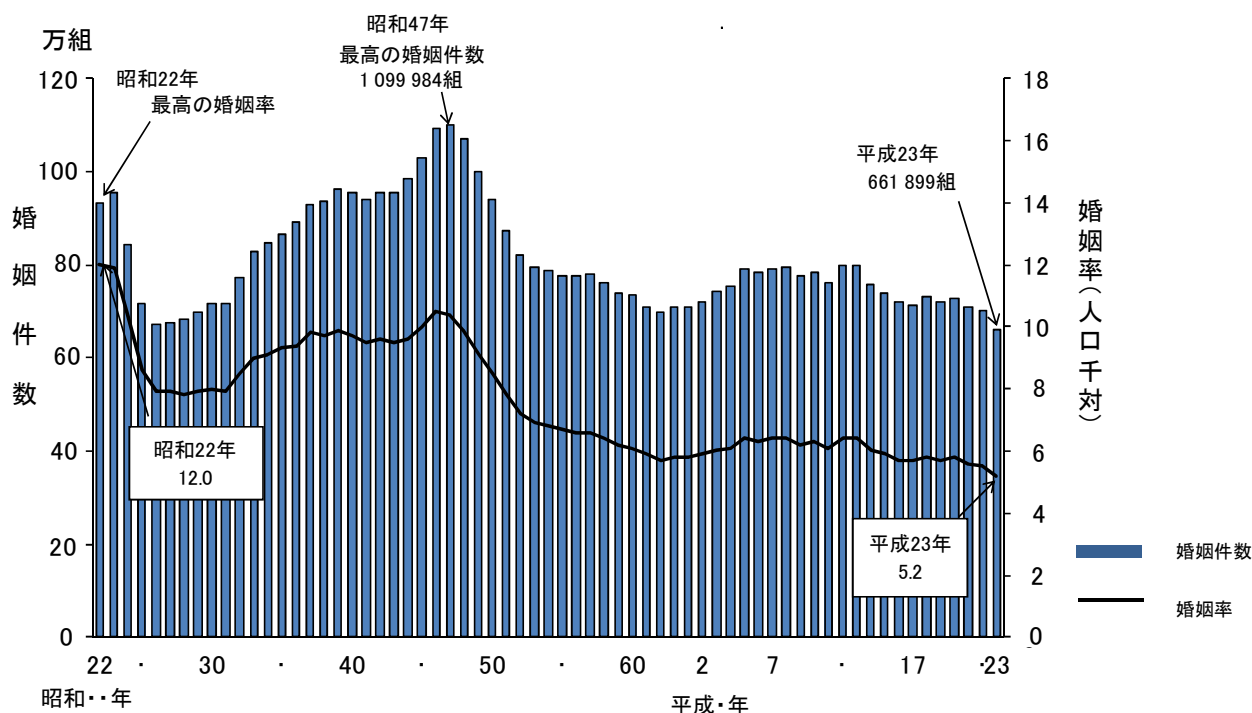
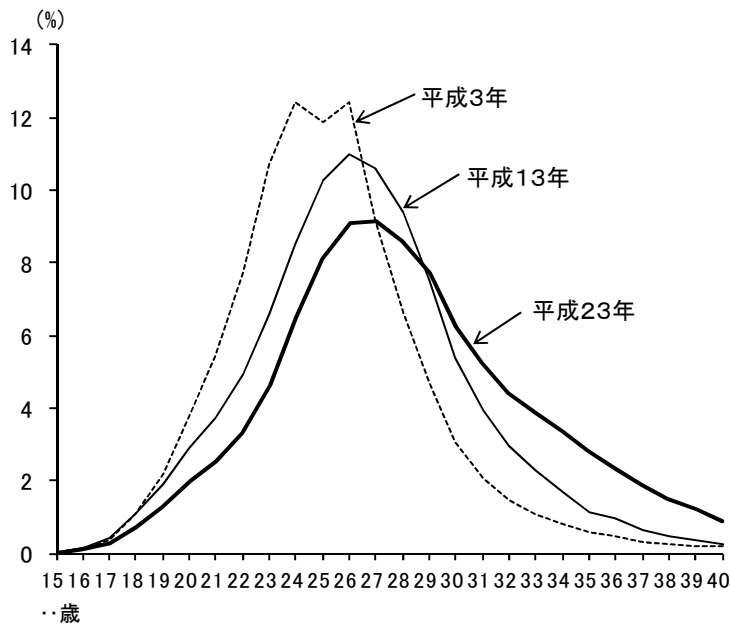


図10 初婚の妻の年齢（各歳）別婚姻件数の割合



注：各届出年に結婚生活に入ったもの。

表9 年齢（5歳階級）別にみた妻の初婚率（女性人口千対）の年次推移

	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳
平成 5 年	52.07	72.61	16.72	3.35
10	44.88	66.16	19.62	4.50
15	36.24	60.82	23.29	6.28
20	33.41	61.84	27.71	8.74
21	32.03	60.63	27.99	9.16
22	32.02	60.37	28.46	9.72
23	29.48	58.04	27.80	9.68

注：各届出年に結婚生活に入ったもの。

表11 全婚姻件数に対する再婚件数の割合の年次推移

	夫	妻
	%	%
平成 5 年	12.7	11.1
10	13.9	12.4
15	17.1	15.4
20	18.7	16.6
21	18.7	16.4
22	18.5	16.2
23	18.8	16.4

表10-1 平均初婚年齢の年次推移

		夫	妻
		歳	歳
平成	5 年	28.4	26.1
	10	28.6	26.7
	15	29.4	27.6
	20	30.2	28.5
	21	30.4	28.6
	22	30.5	28.8
	23	30.7	29.0

注：各届出年に結婚生活に入ったもの。

表10-2 都道府県別にみた平均初婚年齢（平成23年）

都道府県	夫	妻
	歳	歳
北海道	30.2	28.7
青森	30.2	28.4
岩手	30.4	28.4
宮城	30.2	28.6
秋田	30.3	28.6
山形	30.1	28.3
福島	29.6	27.8
茨城	30.6	28.6
栃木	30.4	28.6
群馬	30.6	28.8
埼玉	31.1	29.2
千葉	31.0	29.1
東京都	31.9	30.1
神奈川県	31.5	29.6
新潟	30.5	28.7
富山	30.7	28.8
石川	30.3	28.6
福井	30.3	28.5
山梨	31.0	29.1
長野	31.1	29.2
岐阜	30.4	28.4
静岡県	30.5	28.6
愛知県	30.5	28.6
三重	30.2	28.4
滋賀	30.4	28.6
京都府	30.9	29.3
大阪府	30.7	29.2
兵庫県	30.4	28.9
奈良	30.7	29.0
和歌山	29.9	28.4
鳥取	30.1	28.5
島根	30.3	28.5
岡山	30.0	28.4
広島	30.1	28.6
山口	29.9	28.4
徳島	30.0	28.5
香川	30.0	28.4
愛媛	29.9	28.4
高知	30.5	29.1
福岡	30.3	28.9
佐賀	29.9	28.3
長崎	29.9	28.6
熊本	29.7	28.3
大分	30.0	28.6
宮崎	29.8	28.4
鹿児島	29.9	28.4
沖縄	29.9	28.3

注：平成23年に結婚生活に入ったもの。

5 離婚

平成23年の離婚件数は23万5734組で、前年の25万1378組より1万5644組減少した。

離婚件数は昭和39年以降毎年増加し、昭和46年には10万組を超え、その後も増加を続けたが、昭和58年をピークに減少に転じ、平成3年から再び増加した。平成15年以降、平成21年を除き、減少している。(図11)

離婚率(人口千対)は1.87で、前年の1.99を下回った。(統計表第2表)

離婚件数を同居期間別にみると、すべての同居期間で減少している。(表12、図12)

図11 離婚件数及び離婚率の年次推移

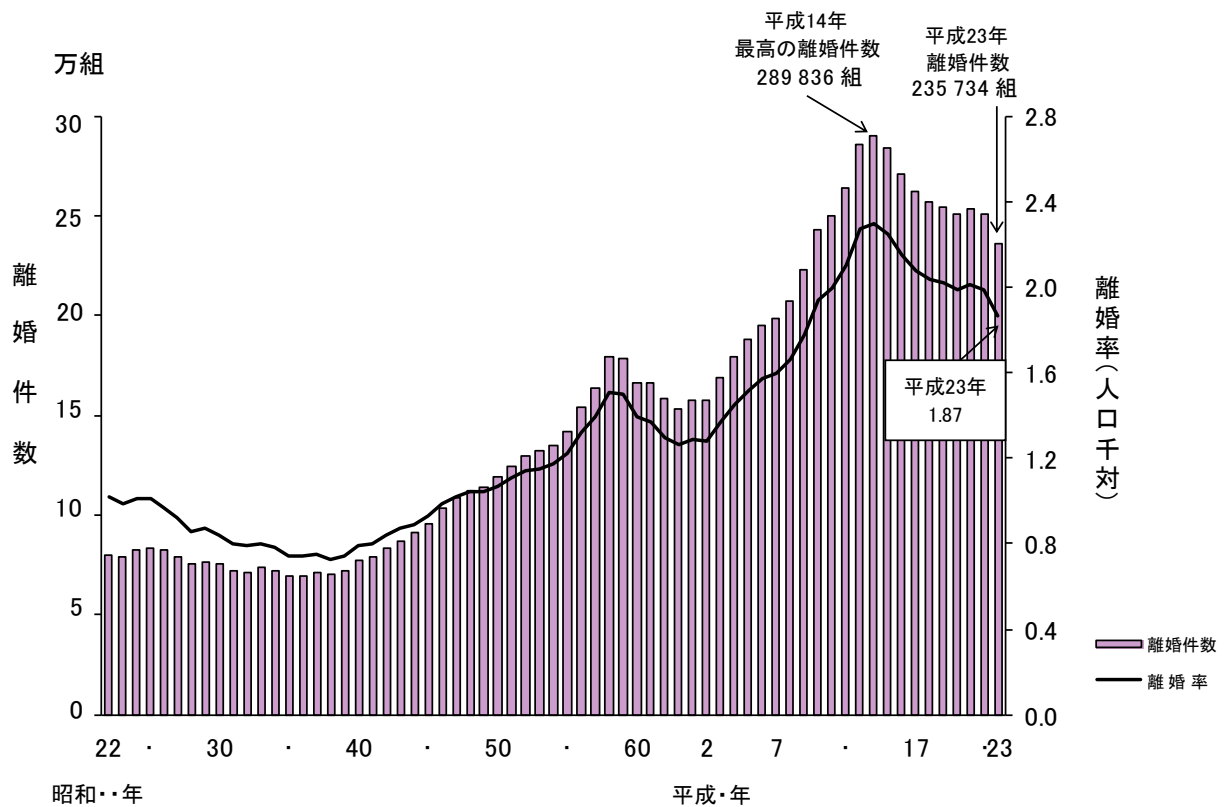
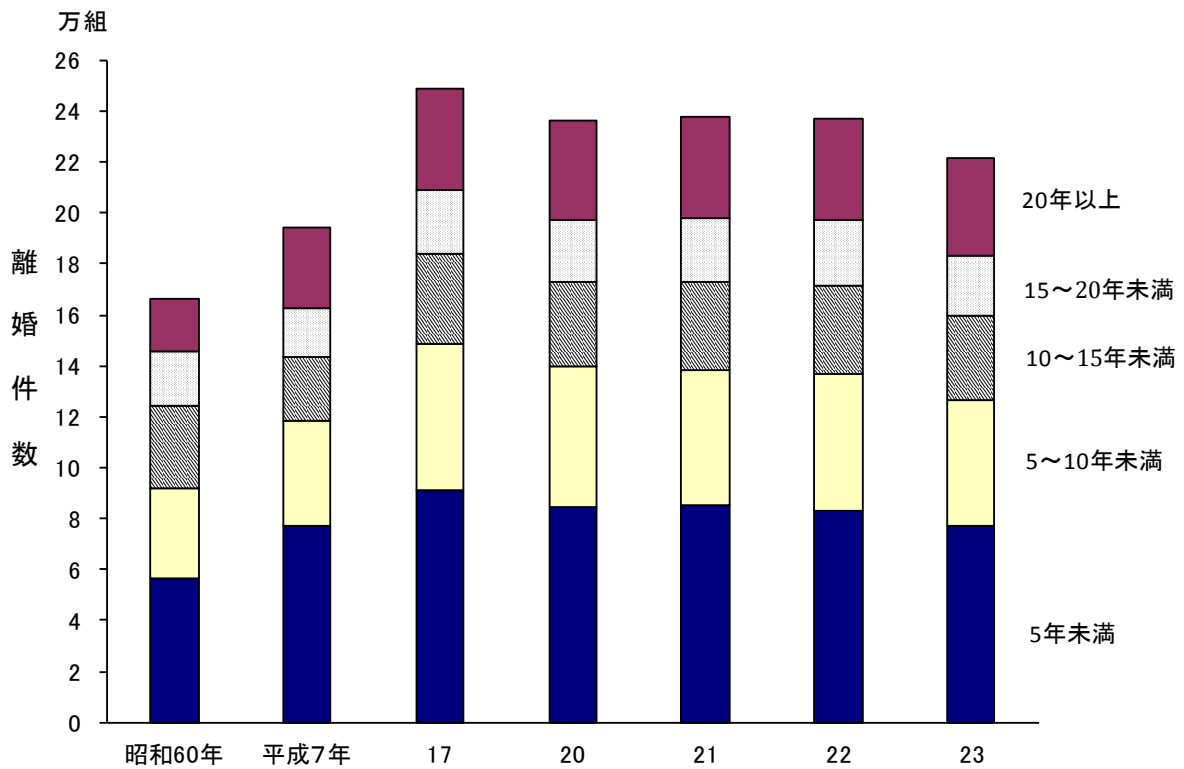


表 1 2 同居期間別離婚件数の年次推移

同居期間	昭和60年	平成7年	17	20	21	22	23	対前年(23年-22年)	
								増減数	増減率
総 数	166 640	199 016	261 917	251 136	253 353	251 378	235 734	△ 15 644	△ 6.2
5年未満	56 442	76 710	90 885	84 198	84 682	82 891	76 897	△ 5 994	△ 7.2
1年未満	12 656	14 893	16 558	16 668	16 584	15 697	14 595	△ 1 102	△ 7.0
1～2	12 817	18 081	20 159	19 115	19 480	18 796	16 935	△ 1 861	△ 9.9
2～3	11 710	16 591	19 435	17 999	18 250	17 735	16 564	△ 1 171	△ 6.6
3～4	10 434	14 576	18 144	15 812	16 187	16 193	14 990	△ 1 203	△ 7.4
4～5	8 825	12 569	16 589	14 604	14 181	14 470	13 813	△ 657	△ 4.5
5～10年未満	35 338	41 185	57 562	55 004	53 652	53 449	49 220	△ 4 229	△ 7.9
10～15年未満	32 310	25 308	35 093	33 606	34 180	34 862	32 985	△ 1 877	△ 5.4
15～20年未満	21 528	19 153	24 885	24 264	24 983	25 618	24 135	△ 1 483	△ 5.8
20年以上	20 434	31 877	40 395	38 920	40 096	40 084	37 791	△ 2 293	△ 5.7
20～25年未満	12 706	17 847	18 401	16 932	17 296	17 413	16 497	△ 916	△ 5.3
25～30	4 827	8 684	10 747	10 673	10 976	10 749	10 137	△ 612	△ 5.7
30～35	1 793	3 506	6 453	5 867	5 950	5 729	5 244	△ 485	△ 8.5
35年以上	1 108	1 840	4 794	5 448	5 874	6 193	5 913	△ 280	△ 4.5

注：総数には同居期間不詳を含む。

図 1 2 同居期間別離婚件数の年次推移



統計表

第1表 人口動態総覧の年次推移 (2-1)

年次		出生数	死亡数	(再掲) 乳児死亡数	新生児 死亡数	自然増減数
1899	明治 32年	1 386 981	932 087	213 359	108 077	454 894
1900	33	1 420 534	910 744	220 211	112 259	509 790
1901	34	1 501 591	925 810	225 107	115 794	575 781
1902	35	1 510 835	959 126	232 652	116 654	551 709
1903	36	1 489 816	931 008	226 982	112 909	558 808
1904	37	1 440 371	955 400	218 756	106 477	484 971
1905	38	1 452 770	1 004 661	220 450	103 382	448 109
1906	39	1 394 295	955 256	214 148	105 307	439 039
1907	40	1 614 472	1 016 798	244 300	118 617	597 674
1908	41	1 662 815	1 029 447	262 801	123 867	633 368
1909	42	1 693 850	1 091 264	283 436	129 629	602 586
1910	43	1 712 857	1 064 234	276 136	126 910	648 623
1911	44	1 747 803	1 043 906	276 798	127 302	703 897
1912	大正 元年	1 737 674	1 037 016	268 025	123 902	700 658
1913	2	1 757 441	1 027 257	267 281	124 213	730 184
1914	3	1 808 402	1 101 815	286 678	125 745	706 587
1915	4	1 799 326	1 093 793	288 634	125 337	705 533
1916	5	1 804 822	1 187 832	307 283	132 000	616 990
1917	6	1 812 413	1 199 669	313 872	139 717	612 744
1918	7	1 791 992	1 493 162	337 919	145 710	298 830
1919	8	1 778 685	1 281 965	303 202	129 072	496 720
1920	9	2 025 564	1 422 096	335 613	139 681	603 468
1921	10	1 990 876	1 288 570	335 143	136 342	702 306
1922	11	1 969 314	1 286 941	327 604	132 856	682 373
1923	12	2 043 297	1 332 485	333 930	135 504	710 812
1924	13	1 998 520	1 254 946	312 267	126 385	743 574
1925	14	2 086 091	1 210 706	297 008	121 238	875 385
1926	昭和 元年	2 104 405	1 160 734	289 275	119 642	943 671
1927	2	2 060 737	1 214 323	292 084	116 240	846 414
1928	3	2 135 852	1 236 711	293 881	115 682	899 141
1929	4	2 077 026	1 261 228	295 178	115 009	815 798
1930	5	2 085 101	1 170 867	258 703	104 101	914 234
1931	6	2 102 784	1 240 891	276 584	108 812	861 893
1932	7	2 182 742	1 175 344	256 505	104 573	1 007 398
1933	8	2 121 253	1 193 987	257 251	102 887	927 266
1934	9	2 043 783	1 234 684	255 063	103 408	809 099
1935	10	2 190 704	1 161 936	233 706	97 994	1 028 768
1936	11	2 101 969	1 230 278	245 357	101 043	871 691
1937	12	2 180 734	1 207 899	230 701	95 465	972 835
1938	13	1 928 321	1 259 805	220 695	89 159	668 516
1939	14	1 901 573	1 268 760	202 018	84 204	632 813
1940	15	2 115 867	1 186 595	190 509	81 869	929 272
1941	16	2 277 283	1 149 559	191 420	77 829	1 127 724
1942	17	2 233 660	1 166 630	190 897	76 177	1 067 030
1943	18	2 253 535	1 213 811	195 219	76 588	1 039 724
1947	22	2 678 792	1 138 238	205 360	84 204	1 540 554
1948	23	2 681 624	950 610	165 406	73 855	1 731 014
1949	24	2 696 638	945 444	168 467	72 432	1 751 194
1950	25	2 337 507	904 876	140 515	64 142	1 432 631
1951	26	2 137 689	838 998	122 869	58 686	1 298 691
1952	27	2 005 162	765 068	99 114	51 015	1 240 094
1953	28	1 868 040	772 547	91 424	47 580	1 095 493
1954	29	1 769 580	721 491	78 944	42 726	1 048 089

注：*印は概数である。

年 次		出 生 数	死 亡 数	(再 掲) 乳児死亡数	新 生 児 死 亡 数	自然増減数
1955	昭和 30 年	1 730 692	693 523	68 801	38 646	1 037 169
1956	31	1 665 278	724 460	67 691	38 232	940 818
1957	32	1 566 713	752 445	62 678	33 847	814 268
1958	33	1 653 469	684 189	57 052	32 237	969 280
1959	34	1 626 088	689 959	54 768	30 235	936 129
1960	35	1 606 041	706 599	49 293	27 362	899 442
1961	36	1 589 372	695 644	45 465	26 255	893 728
1962	37	1 618 616	710 265	42 797	24 777	908 351
1963	38	1 659 521	670 770	38 442	22 965	988 751
1964	39	1 716 761	673 067	34 967	21 344	1 043 694
1965	40	1 823 697	700 438	33 742	21 260	1 123 259
1966	41	1 360 974	670 342	26 217	16 296	690 632
1967	42	1 935 647	675 006	28 928	19 248	1 260 641
1968	43	1 871 839	686 555	28 600	18 326	1 185 284
1969	44	1 889 815	693 787	26 874	17 116	1 196 028
1970	45	1 934 239	712 962	25 412	16 742	1 221 277
1971	46	2 000 973	684 521	24 805	16 450	1 316 452
1972	47	2 038 682	683 751	23 773	15 817	1 354 931
1973	48	2 091 983	709 416	23 683	15 473	1 382 567
1974	49	2 029 989	710 510	21 888	14 472	1 319 479
1975	50	1 901 440	702 275	19 103	12 912	1 199 165
1976	51	1 832 617	703 270	17 105	11 638	1 129 347
1977	52	1 755 100	690 074	15 666	10 773	1 065 026
1978	53	1 708 643	695 821	14 327	9 628	1 012 822
1979	54	1 642 580	689 664	12 923	8 590	952 916
1980	55	1 576 889	722 801	11 841	7 796	854 088
1981	56	1 529 455	720 262	10 891	7 188	809 193
1982	57	1 515 392	711 883	9 969	6 425	803 509
1983	58	1 508 687	740 038	9 406	5 894	768 649
1984	59	1 489 780	740 247	8 920	5 527	749 533
1985	60	1 431 577	752 283	7 899	4 910	679 294
1986	61	1 382 946	750 620	7 251	4 296	632 326
1987	62	1 346 658	751 172	6 711	3 933	595 486
1988	63	1 314 006	793 014	6 265	3 592	520 992
1989	平成 元 年	1 246 802	788 594	5 724	3 214	458 208
1990	2	1 221 585	820 305	5 616	3 179	401 280
1991	3	1 223 245	829 797	5 418	2 978	393 448
1992	4	1 208 989	856 643	5 477	2 905	352 346
1993	5	1 188 282	878 532	5 169	2 765	309 750
1994	6	1 238 328	875 933	5 261	2 889	362 395
1995	7	1 187 064	922 139	5 054	2 615	264 925
1996	8	1 206 555	896 211	4 546	2 438	310 344
1997	9	1 191 665	913 402	4 403	2 307	278 263
1998	10	1 203 147	936 484	4 380	2 353	266 663
1999	11	1 177 669	982 031	4 010	2 137	195 638
2000	12	1 190 547	961 653	3 830	2 106	228 894
2001	13	1 170 662	970 331	3 599	1 909	200 331
2002	14	1 153 855	982 379	3 497	1 937	171 476
2003	15	1 123 610	1 014 951	3 364	1 879	108 659
2004	16	1 110 721	1 028 602	3 122	1 622	82 119
2005	17	1 062 530	1 083 796	2 958	1 510	△ 21 266
2006	18	1 092 674	1 084 450	2 864	1 444	8 224
2007	19	1 089 818	1 108 334	2 828	1 434	△ 18 516
2008	20	1 091 156	1 142 407	2 798	1 331	△ 51 251
2009	21	1 070 035	1 141 865	2 556	1 254	△ 71 830
2010	22	1 071 304	1 197 012	2 450	1 167	△ 125 708
2011	* 23	1 050 698	1 253 463	2 463	1 147	△ 202 765

第1表 人口動態総覧の年次推移 (2-2)

(参考)

年次		死産数			周産期 死亡数 ²⁾	婚姻件数	離婚件数	周産期 死亡数 ³⁾
		総数	自然死産	人工死産				
1899	明治 32年	135 727	297 372	66 545	...
1900	33	137 987	346 528	63 828	...
1901	34	155 489	378 457	63 442	...
1902	35	157 708	394 165	64 139	...
1903	36	153 920	370 961	65 392	...
1904	37	147 058	398 930	63 913	...
1905	38	142 092	350 898	60 061	...
1906	39	149 731	352 857	65 398	...
1907	40	158 814	432 949	61 058	...
1908	41	162 676	461 254	60 226	...
1909	42	161 576	437 882	58 936	...
1910	43	157 392	441 222	59 432	...
1911	44	155 319	433 117	58 067	...
1912	大正 元年	147 545	430 422	59 143	...
1913	2	147 769	431 287	59 536	...
1914	3	145 692	452 932	59 992	...
1915	4	141 301	445 210	59 943	...
1916	5	139 998	433 680	60 254	...
1917	6	140 328	447 970	55 812	...
1918	7	142 507	500 580	56 474	...
1919	8	132 939	480 136	56 812	...
1920	9	144 038	546 207	55 511	...
1921	10	138 301	519 217	53 402	...
1922	11	132 244	515 916	53 053	...
1923	12	133 863	512 689	51 212	...
1924	13	125 839	513 130	51 770	...
1925	14	124 403	521 438	51 687	...
1926	昭和 元年	124 038	502 847	50 119	...
1927	2	116 922	487 850	50 626	...
1928	3	120 191	499 555	49 119	...
1929	4	116 971	497 410	51 222	...
1930	5	117 730	506 674	51 259	...
1931	6	116 509	496 574	50 609	...
1932	7	119 579	515 270	51 437	...
1933	8	114 138	486 058	49 282	...
1934	9	113 043	512 654	48 610	...
1935	10	115 593	556 730	48 528	...
1936	11	111 056	549 116	46 167	...
1937	12	111 485	674 500	46 500	...
1938	13	99 528	538 831	44 656	...
1939	14	98 349	554 321	45 970	...
1940	15	102 034	666 575	48 556	...
1941	16	103 400	791 625	49 424	...
1942	17	95 448	679 044	46 268	...
1943	18	92 889	743 842	49 705	...
1947	22	123 837	934 170	79 551	...
1948	23	1) 143 963	* 104 325	* 31 055	...	953 999	79 032	...
1949	24	1) 192 677	* 114 161	* 75 585	...	842 170	82 575	...
1950	25	216 974	106 594	110 380	...	715 081	83 689	108 843
1951	26	217 231	101 237	115 994	...	671 905	82 331	99 865
1952	27	203 824	94 508	109 316	...	676 995	79 021	91 527
1953	28	193 274	89 751	103 523	...	682 077	75 255	85 932
1954	29	187 119	87 201	99 918	...	697 809	76 759	79 776

注： *印は概数である。

- 1) 昭和23年、24年の死産には自然・人工死産の不詳を含む。
- 2) 妊娠満22週以後の死産に早期新生児死亡を加えたものである。
- 3) 妊娠満28週以後の死産に早期新生児死亡を加えたものである。

(参考)

年 次		死 産 数			2) 周産期 死亡数	婚姻件数	離婚件数	3) 周産期 死亡数
		総 数	自然死産	人工死産				
1955	昭和 30 年	183 265	85 159	98 106	...	714 861	75 267	75 918
1956	31	179 007	86 558	92 449	...	715 934	72 040	75 706
1957	32	176 353	86 895	89 458	...	773 362	71 651	70 502
1958	33	185 148	92 282	92 866	...	826 902	74 004	72 625
1959	34	181 893	92 688	89 205	...	847 135	72 455	69 912
1960	35	179 281	93 424	85 857	...	866 115	69 410	66 552
1961	36	179 895	96 032	83 863	...	890 158	69 323	65 063
1962	37	177 363	97 256	80 107	...	928 341	71 394	62 650
1963	38	175 424	97 711	77 713	...	937 516	69 996	60 049
1964	39	168 046	97 357	70 689	...	963 130	72 306	56 827
1965	40	161 617	94 476	67 141	...	954 852	77 195	54 904
1966	41	148 248	83 253	64 995	...	940 120	79 432	42 583
1967	42	149 389	90 938	58 451	...	953 096	83 478	50 846
1968	43	143 259	87 381	55 878	...	956 312	87 327	45 921
1969	44	139 211	85 788	53 423	...	984 142	91 280	43 419
1970	45	135 095	84 073	51 022	...	1 029 405	95 937	41 917
1971	46	130 920	83 827	47 093	...	1 091 229	103 595	40 900
1972	47	125 154	81 741	43 413	...	1 099 984	108 382	38 754
1973	48	116 171	78 613	37 558	...	1 071 923	111 877	37 598
1974	49	109 738	74 618	35 120	...	1 000 455	113 622	34 383
1975	50	101 862	67 643	34 219	...	941 628	119 135	30 513
1976	51	101 930	64 046	37 884	...	871 543	124 512	27 133
1977	52	95 247	60 330	34 917	...	821 029	129 485	24 708
1978	53	87 463	55 818	31 645	...	793 257	132 146	22 217
1979	54	82 311	51 083	31 228	36 190	788 505	135 250	20 481
1980	55	77 446	47 651	29 795	32 422	774 702	141 689	18 385
1981	56	79 222	46 296	32 926	30 274	776 531	154 221	16 531
1982	57	78 107	44 135	33 972	28 204	781 252	163 980	15 303
1983	58	71 941	40 108	31 833	25 925	762 552	179 150	14 035
1984	59	72 361	37 976	34 385	25 149	739 991	178 746	12 998
1985	60	69 009	33 114	35 895	22 379	735 850	166 640	11 470
1986	61	65 678	31 050	34 628	20 389	710 962	166 054	10 148
1987	62	63 834	29 956	33 878	18 699	696 173	158 227	9 317
1988	63	59 636	26 804	32 832	16 839	707 716	153 600	8 508
1989	平成 元年	55 204	24 558	30 646	15 183	708 316	157 811	7 450
1990	2	53 892	23 383	30 509	13 704	722 138	157 608	7 001
1991	3	50 510	22 317	28 193	10 426	742 264	168 969	6 544
1992	4	48 896	21 689	27 207	9 888	754 441	179 191	6 321
1993	5	45 090	20 205	24 885	9 226	792 658	188 297	5 989
1994	6	42 962	19 754	23 208	9 286	782 738	195 106	6 134
1995	7	39 403	18 262	21 141	8 412	791 888	199 016	5 526
1996	8	39 536	18 329	21 207	8 080	795 080	206 955	5 321
1997	9	39 546	17 453	22 093	7 624	775 651	222 635	4 974
1998	10	38 988	16 936	22 052	7 447	784 595	243 183	4 927
1999	11	38 452	16 711	21 741	7 102	762 028	250 529	4 665
2000	12	38 393	16 200	22 193	6 881	798 138	264 246	4 562
2001	13	37 467	15 704	21 763	6 476	799 999	285 911	4 238
2002	14	36 978	15 161	21 817	6 333	757 331	289 836	4 224
2003	15	35 330	14 644	20 686	5 929	740 191	283 854	3 995
2004	16	34 365	14 288	20 077	5 541	720 417	270 804	3 671
2005	17	31 818	13 502	18 316	5 149	714 265	261 917	3 492
2006	18	30 911	13 424	17 487	5 100	730 971	257 475	3 420
2007	19	29 313	13 107	16 206	4 906	719 822	254 832	3 306
2008	20	28 177	12 625	15 552	4 720	726 106	251 136	3 178
2009	21	27 005	12 214	14 791	4 519	707 734	253 353	3 096
2010	22	26 560	12 245	14 315	4 515	700 214	251 378	3 065
2011	* 23	25 755	11 946	13 809	4 314	661 899	235 734	2 961

第2表 人口動態総覧（率）の年次推移 (2-1)

年次		出生率	死亡率	乳児死亡率	新生児死亡率	自然増減率	死産率 ¹⁾	自然死産率	人工死産率
		(人口千対)		(出生千対)		(人口千対)	(出産千対)		
1899	明治 32年	32.0	21.5	153.8	77.9	10.5	89.1
1900	33	32.4	20.8	155.0	79.0	11.6	88.5
1901	34	33.9	20.9	149.9	77.1	13.0	93.8
1902	35	33.6	21.3	154.0	77.2	12.3	94.5
1903	36	32.7	20.4	152.4	75.8	12.3	93.6
1904	37	31.2	20.7	151.9	73.9	10.5	92.6
1905	38	31.2	21.6	151.7	71.2	9.6	89.1
1906	39	29.6	20.3	153.6	75.5	9.3	97.0
1907	40	34.0	21.4	151.3	73.5	12.6	89.6
1908	41	34.7	21.5	158.0	74.5	13.2	89.1
1909	42	34.9	22.5	167.3	76.5	12.4	87.1
1910	43	34.8	21.6	161.2	74.1	13.2	84.2
1911	44	35.1	20.9	158.4	72.8	14.1	81.6
1912	大正 元年	34.4	20.5	154.2	71.3	13.9	78.3
1913	2	34.3	20.0	152.1	70.7	14.2	77.6
1914	3	34.8	21.2	158.5	69.5	13.6	74.6
1915	4	34.1	20.7	160.4	69.7	13.4	72.8
1916	5	33.7	22.2	170.3	73.1	11.5	72.0
1917	6	33.5	22.2	173.2	77.1	11.3	71.9
1918	7	32.7	27.3	188.6	81.3	5.5	73.7
1919	8	32.3	23.3	170.5	72.6	9.0	69.5
1920	9	36.2	25.4	165.7	69.0	10.8	66.4
1921	10	35.1	22.7	168.3	68.5	12.4	65.0
1922	11	34.3	22.4	166.4	67.5	11.9	62.9
1923	12	35.2	22.9	163.4	66.3	12.2	61.5
1924	13	33.9	21.3	156.2	63.2	12.6	59.2
1925	14	34.9	20.3	142.4	58.1	14.7	56.3
1926	昭和 元年	34.6	19.1	137.5	56.9	15.5	55.7
1927	2	33.4	19.7	141.7	56.4	13.7	53.7
1928	3	34.1	19.8	137.6	54.2	14.4	53.3
1929	4	32.7	19.9	142.1	55.4	12.9	53.3
1930	5	32.4	18.2	124.1	49.9	14.2	53.4
1931	6	32.1	19.0	131.5	51.7	13.2	52.5
1932	7	32.9	17.7	117.5	47.9	15.2	51.9
1933	8	31.5	17.7	121.3	48.5	13.8	51.1
1934	9	29.9	18.1	124.8	50.6	11.8	52.4
1935	10	31.6	16.8	106.7	44.7	14.9	50.1
1936	11	30.0	17.5	116.7	48.1	12.4	50.2
1937	12	30.9	17.1	105.8	43.8	13.8	48.6
1938	13	27.2	17.7	114.4	46.2	9.4	49.1
1939	14	26.6	17.8	106.2	44.3	8.9	49.2
1940	15	29.4	16.5	90.0	38.7	12.9	46.0
1941	16	31.8	16.0	84.1	34.2	15.7	43.4
1942	17	30.9	16.1	85.5	34.1	14.7	41.0
1943	18	30.9	16.7	86.6	33.8	14.3	39.6
1947	22	34.3	14.6	76.7	31.4	19.7	44.2
1948	23	33.5	11.9	61.7	27.5	21.6	50.9	* 36.9	* 10.9
1949	24	33.0	11.6	62.5	26.9	21.4	66.7	* 39.1	* 25.9
1950	25	28.1	10.9	60.1	27.4	17.2	84.9	41.7	43.2
1951	26	25.3	9.9	57.5	27.5	15.4	92.2	43.0	49.3
1952	27	23.4	8.9	49.4	25.4	14.4	92.3	42.8	49.5
1953	28	21.5	8.9	48.9	25.5	12.6	93.8	43.5	50.2
1954	29	20.0	8.2	44.6	24.1	11.9	95.6	44.6	51.1

注： *印は概数による率である。

1) 死産率は死産数を出産数（死産数に出生数を加えたもの）で除している。

年 次		出 生 率	死 亡 率	乳児死亡率	新生児死亡率	自然増減率	死産率 ¹⁾	自然死産率	人工死産率
		(人 口 千 対)		(出 生 千 対)		(人口千対)	(出 産 千 対)		
1955	昭和 30 年	19.4	7.8	39.8	22.3	11.6	95.8	44.5	51.3
1956	31	18.4	8.0	40.6	23.0	10.4	97.1	46.9	50.1
1957	32	17.2	8.3	40.0	21.6	8.9	101.2	49.9	51.3
1958	33	18.0	7.4	34.5	19.5	10.5	100.7	50.2	50.5
1959	34	17.5	7.4	33.7	18.6	10.1	100.6	51.3	49.3
1960	35	17.2	7.6	30.7	17.0	9.6	100.4	52.3	48.1
1961	36	16.9	7.4	28.6	16.5	9.5	101.7	54.3	47.4
1962	37	17.0	7.5	26.4	15.3	9.5	98.8	54.2	44.6
1963	38	17.3	7.0	23.2	13.8	10.3	95.6	53.3	42.4
1964	39	17.7	6.9	20.4	12.4	10.7	89.2	51.7	37.5
1965	40	18.6	7.1	18.5	11.7	11.4	81.4	47.6	33.8
1966	41	13.7	6.8	19.3	12.0	7.0	98.2	55.2	43.1
1967	42	19.4	6.8	14.9	9.9	12.7	71.6	43.6	28.0
1968	43	18.6	6.8	15.3	9.8	11.8	71.1	43.4	27.7
1969	44	18.5	6.8	14.2	9.1	11.7	68.6	42.3	26.3
1970	45	18.8	6.9	13.1	8.7	11.8	65.3	40.6	24.7
1971	46	19.2	6.6	12.4	8.2	12.6	61.4	39.3	22.1
1972	47	19.3	6.5	11.7	7.8	12.8	57.8	37.8	20.1
1973	48	19.4	6.6	11.3	7.4	12.8	52.6	35.6	17.0
1974	49	18.6	6.5	10.8	7.1	12.1	51.3	34.9	16.4
1975	50	17.1	6.3	10.0	6.8	10.8	50.8	33.8	17.1
1976	51	16.3	6.3	9.3	6.4	10.0	52.7	33.1	19.6
1977	52	15.5	6.1	8.9	6.1	9.4	51.5	32.6	18.9
1978	53	14.9	6.1	8.4	5.6	8.8	48.7	31.1	17.6
1979	54	14.2	6.0	7.9	5.2	8.3	47.7	29.6	18.1
1980	55	13.6	6.2	7.5	4.9	7.3	46.8	28.8	18.0
1981	56	13.0	6.1	7.1	4.7	6.9	49.2	28.8	20.5
1982	57	12.8	6.0	6.6	4.2	6.8	49.0	27.7	21.3
1983	58	12.7	6.2	6.2	3.9	6.5	45.5	25.4	20.1
1984	59	12.5	6.2	6.0	3.7	6.3	46.3	24.3	22.0
1985	60	11.9	6.3	5.5	3.4	5.6	46.0	22.1	23.9
1986	61	11.4	6.2	5.2	3.1	5.2	45.3	21.4	23.9
1987	62	11.1	6.2	5.0	2.9	4.9	45.3	21.2	24.0
1988	63	10.8	6.5	4.8	2.7	4.3	43.4	19.5	23.9
1989	平成 元年	10.2	6.4	4.6	2.6	3.7	42.4	18.9	23.5
1990	2	10.0	6.7	4.6	2.6	3.3	42.3	18.3	23.9
1991	3	9.9	6.7	4.4	2.4	3.2	39.7	17.5	22.1
1992	4	9.8	6.9	4.5	2.4	2.9	38.9	17.2	21.6
1993	5	9.6	7.1	4.3	2.3	2.5	36.6	16.4	20.2
1994	6	10.0	7.1	4.2	2.3	2.9	33.5	15.4	18.1
1995	7	9.6	7.4	4.3	2.2	2.1	32.1	14.9	17.2
1996	8	9.7	7.2	3.8	2.0	2.5	31.7	14.7	17.0
1997	9	9.5	7.3	3.7	1.9	2.2	32.1	14.2	17.9
1998	10	9.6	7.5	3.6	2.0	2.1	31.4	13.6	17.8
1999	11	9.4	7.8	3.4	1.8	1.6	31.6	13.7	17.9
2000	12	9.5	7.7	3.2	1.8	1.8	31.2	13.2	18.1
2001	13	9.3	7.7	3.1	1.6	1.6	31.0	13.0	18.0
2002	14	9.2	7.8	3.0	1.7	1.4	31.1	12.7	18.3
2003	15	8.9	8.0	3.0	1.7	0.9	30.5	12.6	17.8
2004	16	8.8	8.2	2.8	1.5	0.7	30.0	12.5	17.5
2005	17	8.4	8.6	2.8	1.4	△ 0.2	29.1	12.3	16.7
2006	18	8.7	8.6	2.6	1.3	0.1	27.5	11.9	15.6
2007	19	8.6	8.8	2.6	1.3	△ 0.1	26.2	11.7	14.5
2008	20	8.7	9.1	2.6	1.2	△ 0.4	25.2	11.3	13.9
2009	21	8.5	9.1	2.4	1.2	△ 0.6	24.6	11.1	13.5
2010	22	8.5	9.5	2.3	1.1	△ 1.0	24.2	11.2	13.0
2011	* 23	8.3	9.9	2.3	1.1	△ 1.6	23.9	11.1	12.8

第2表 人口動態総覧(率)の年次推移(2-2)

(参考)

年次		周産期 死亡率 (出産千対) ²⁾	婚姻率 (人口千対)	離婚率	合計特殊 出生率	年齢調整死亡率 ³⁾ (人口千対)		周産期 死亡率 (出生千対) ⁴⁾
						男	女	
1899	明治 32年	...	6.9	1.53
1900	33	...	7.9	1.46
1901	34	...	8.5	1.43
1902	35	...	8.8	1.43
1903	36	...	8.1	1.44
1904	37	...	8.6	1.39
1905	38	...	7.5	1.29
1906	39	...	7.5	1.39
1907	40	...	9.1	1.29
1908	41	...	9.6	1.26
1909	42	...	9.0	1.21
1910	43	...	9.0	1.21
1911	44	...	8.7	1.16
1912	大正 元年	...	8.5	1.17
1913	2	...	8.4	1.16
1914	3	...	8.7	1.15
1915	4	...	8.4	1.14
1916	5	...	8.1	1.13
1917	6	...	8.3	1.03
1918	7	...	9.1	1.03
1919	8	...	8.7	1.03
1920	9	...	9.8	0.99
1921	10	...	9.2	0.94
1922	11	...	9.0	0.92
1923	12	...	8.8	0.88
1924	13	...	8.7	0.88
1925	14	...	8.7	0.87
1926	昭和 元年	...	8.3	0.83
1927	2	...	7.9	0.82
1928	3	...	8.0	0.78
1929	4	...	7.8	0.81
1930	5	...	7.9	0.80
1931	6	...	7.6	0.77
1932	7	...	7.8	0.77
1933	8	...	7.2	0.73
1934	9	...	7.5	0.71
1935	10	...	8.0	0.70
1936	11	...	7.8	0.66
1937	12	...	9.5	0.66
1938	13	...	7.6	0.63
1939	14	...	7.8	0.64
1940	15	...	9.3	0.68
1941	16	...	11.0	0.69
1942	17	...	9.4	0.64
1943	18	...	10.2	0.68
1947	22	...	12.0	1.02	4.54	23.6	18.3	...
1948	23	...	11.9	0.99	4.40	19.3	15.4	...
1949	24	...	10.3	1.01	4.32	18.9	15.0	...
1950	25	...	8.6	1.01	3.65	18.6	14.6	46.6
1951	26	...	7.9	0.97	3.26	16.9	13.4	46.7
1952	27	...	7.9	0.92	2.98	15.7	12.4	45.6
1953	28	...	7.8	0.86	2.69	16.4	12.6	46.0
1954	29	...	7.9	0.87	2.48	15.2	11.3	45.1

注：*印は概数による率である。

2) 妊娠満22週以後の死産数に早期新生児死亡数を加えたものを出産数(妊娠満22週以後の死産数に出生数を加えたもの)で除している。

3) 年齢調整死亡率は、人口構成の異なる集団間での死亡率を比較するために、年齢階級別死亡率を一定の基準人口(昭和60年モデル人口)にあてはめて算出した指標である。

4) 妊娠満28週以後の死産数に早期新生児死亡数を加えたものを出生数で除している。

(参考)

年 次		周産期 死亡率 ²⁾ (出生千対)	婚姻率 (人 口 千 対)	離婚率	合計特殊 出生率	年齢調整死亡率 ³⁾ (人 口 千 対)		周産期 死亡率 ⁴⁾ (出生千対)
						男	女	
1955	昭和 30 年	...	8.0	0.84	2.37	14.8	11.0	43.9
1956	31	...	7.9	0.80	2.22	15.6	11.5	45.5
1957	32	...	8.5	0.79	2.04	16.3	11.8	45.0
1958	33	...	9.0	0.80	2.11	14.4	10.4	43.9
1959	34	...	9.1	0.78	2.04	14.4	10.2	43.0
1960	35	...	9.3	0.74	2.00	14.8	10.4	41.4
1961	36	...	9.4	0.74	1.96	14.3	10.0	40.9
1962	37	...	9.8	0.75	1.98	14.6	10.0	38.7
1963	38	...	9.7	0.73	2.00	13.4	9.3	36.2
1964	39	...	9.9	0.74	2.05	13.2	9.1	33.1
1965	40	...	9.7	0.79	2.14	13.7	9.3	30.1
1966	41	...	9.5	0.80	1.58	12.7	8.7	31.3
1967	42	...	9.6	0.84	2.23	12.6	8.5	26.3
1968	43	...	9.5	0.87	2.13	12.5	8.4	24.5
1969	44	...	9.6	0.89	2.13	12.4	8.2	23.0
1970	45	...	10.0	0.93	2.13	12.3	8.2	21.7
1971	46	...	10.5	0.99	2.16	11.5	7.6	20.4
1972	47	...	10.4	1.02	2.14	11.2	7.4	19.0
1973	48	...	9.9	1.04	2.14	11.2	7.4	18.0
1974	49	...	9.1	1.04	2.05	10.9	7.2	16.9
1975	50	...	8.5	1.07	1.91	10.4	6.9	16.0
1976	51	...	7.8	1.11	1.85	10.1	6.6	14.8
1977	52	...	7.2	1.14	1.80	9.6	6.2	14.1
1978	53	...	6.9	1.15	1.79	9.4	6.0	13.0
1979	54	21.6	6.8	1.17	1.77	9.0	5.7	12.5
1980	55	20.2	6.7	1.22	1.75	9.2	5.8	11.7
1981	56	19.5	6.6	1.32	1.74	8.9	5.6	10.8
1982	57	18.3	6.6	1.39	1.77	8.5	5.2	10.1
1983	58	16.9	6.4	1.51	1.80	8.6	5.2	9.3
1984	59	16.6	6.2	1.50	1.81	8.3	5.0	8.7
1985	60	15.4	6.1	1.39	1.76	8.1	4.8	8.0
1986	61	14.6	5.9	1.37	1.72	7.8	4.6	7.3
1987	62	13.7	5.7	1.30	1.69	7.6	4.4	6.9
1988	63	12.7	5.8	1.26	1.66	7.7	4.5	6.5
1989	平成 元年	12.1	5.8	1.29	1.57	7.4	4.2	6.0
1990	2	11.1	5.9	1.28	1.54	7.5	4.2	5.7
1991	3	8.5	6.0	1.37	1.53	7.4	4.1	5.3
1992	4	8.1	6.1	1.45	1.50	7.4	4.0	5.2
1993	5	7.7	6.4	1.52	1.46	7.3	4.0	5.0
1994	6	7.5	6.3	1.57	1.50	7.1	3.8	5.0
1995	7	7.0	6.4	1.60	1.42	7.2	3.8	4.7
1996	8	6.7	6.4	1.66	1.43	6.8	3.6	4.4
1997	9	6.4	6.2	1.78	1.39	6.7	3.5	4.2
1998	10	6.2	6.3	1.94	1.38	6.6	3.4	4.1
1999	11	6.0	6.1	2.00	1.34	6.7	3.4	4.0
2000	12	5.8	6.4	2.10	1.36	6.3	3.2	3.8
2001	13	5.5	6.4	2.27	1.33	6.2	3.1	3.6
2002	14	5.5	6.0	2.30	1.32	6.0	3.0	3.7
2003	15	5.3	5.9	2.25	1.29	6.0	3.0	3.6
2004	16	5.0	5.7	2.15	1.29	5.9	3.0	3.3
2005	17	4.8	5.7	2.08	1.26	5.9	3.0	3.3
2006	18	4.7	5.8	2.04	1.32	5.7	2.9	3.1
2007	19	4.5	5.7	2.02	1.34	5.6	2.8	3.0
2008	20	4.3	5.8	1.99	1.37	5.6	2.8	2.9
2009	21	4.2	5.6	2.01	1.37	5.4	2.7	2.9
2010	22	4.2	5.5	1.99	1.39	5.4	2.7	2.9
2011	* 23	4.1	5.2	1.87	1.39	2.8

第3表 出生数の年次推移，母の年齢（5歳階級）別

母の年齢	昭和60年	平成7年	17	20	21	22	*23
総数 ¹⁾	1 431 577	1 187 064	1 062 530	1 091 156	1 070 035	1 071 304	1 050 698
～14歳	23	37	42	38	67	51	44
15～19	17 854	16 075	16 531	15 427	14 620	13 495	13 273
20～24	247 341	193 514	128 135	124 691	116 808	110 956	104 053
25～29	682 885	492 714	339 328	317 753	307 765	306 910	300 350
30～34	381 466	371 773	404 700	404 771	389 793	384 385	373 452
35～39	93 501	100 053	153 440	200 328	209 706	220 101	221 245
40～44	8 224	12 472	19 750	27 522	30 566	34 609	37 435
45～49	244	414	564	594	684	773	802
50歳以上	1	-	34	24	20	19	41

注：*印は概数である。

1)総数には母の年齢不詳を含む。

第4表 出生数の年次推移，出生順位別

出生順位	昭和60年	平成7年	17	20	21	22	*23
総数	1 431 577	1 187 064	1 062 530	1 091 156	1 070 035	1 071 304	1 050 698
第1子	602 005	567 530	512 412	517 724	512 742	509 736	494 677
第2子	562 920	428 394	399 307	402 152	390 073	390 212	383 619
第3子以上	266 652	191 140	150 811	171 280	167 220	171 356	172 402

注：*印は概数である。

第5表 死亡率（人口10万対）の年次推移，性・年齢（5歳階級）別

総 数 (3-1)

年 齢	昭和60年	平成7年	17	20	21	22	* 23
総 数 ¹⁾	625.5	741.9	858.8	907.1	907.5	947.1	993.4
0～4歳	145.3	118.3	73.9	70.1	65.0	64.4	69.0
5～9	21.1	19.0	11.1	9.7	9.5	8.6	13.8
10～14	16.5	15.9	9.8	8.7	8.3	9.4	12.4
15～19	47.2	39.6	27.6	26.7	24.4	23.6	28.9
20～24	57.1	52.1	46.9	43.3	44.3	43.7	48.1
25～29	60.9	53.4	51.5	49.1	49.0	48.0	52.6
30～34	74.5	64.4	62.0	60.1	58.7	58.9	62.3
35～39	104.2	88.7	86.9	81.6	81.7	78.0	83.4
40～44	175.6	143.7	128.5	121.7	123.2	117.5	122.2
45～49	277.1	228.9	205.9	191.6	189.3	182.4	191.2
50～54	455.6	371.5	331.3	301.7	296.5	289.3	297.4
55～59	654.3	565.3	484.9	472.6	462.8	454.3	454.2
60～64	948.7	917.4	730.1	682.6	658.5	657.4	681.9
65～69	1 554.0	1 397.9	1 088.9	1 006.3	983.6	1 009.5	1 049.1
70～74	2 717.5	2 191.5	1 821.1	1 671.5	1 592.2	1 577.8	1 581.8
75～79	4 980.5	3 827.8	3 029.1	2 873.4	2 753.8	2 730.8	2 739.1
80～84	8 540.5	6 882.0	5 109.4	4 920.6	4 771.5	4 841.7	4 911.9
85～89	14 725.6	11 847.5	8 947.0	8 457.9	8 175.3	8 473.8	8 513.0
90～94 ²⁾	23 364.8	21 468.2	15 167.7	14 782.9	14 466.5	14 806.4	15 016.4
95～99	…	…	23 894.8	22 724.2	21 730.4	25 328.5	25 241.8
100歳以上	…	…	37 771.1	33 748.8	31 143.8	39 892.0	41 644.7

注：*印は概数である。

1) 総数には年齢不詳を含む。

2) 昭和60年、平成7年の90～94歳は90歳以上の数値である。

第5表 死亡率（人口10万対）の年次推移，性・年齢（5歳階級）別

男 (3-2)

年 齢	昭和60年	平成7年	17	20	21	22	* 23
総 数 ¹⁾	690.6	822.9	949.4	991.0	992.9	1 029.2	1 068.6
0～4歳	158.8	129.0	80.6	73.5	70.9	69.6	69.7
5～9	26.6	22.6	13.5	10.8	10.1	9.2	14.5
10～14	19.9	18.8	11.8	10.9	9.3	11.6	14.6
15～19	69.8	55.4	36.4	34.1	32.3	30.4	36.7
20～24	81.4	73.1	62.4	58.2	59.5	60.8	62.9
25～29	80.7	73.3	70.1	64.9	63.7	66.2	67.0
30～34	93.3	81.7	80.5	77.3	76.3	76.0	78.2
35～39	131.9	113.5	113.1	104.0	104.6	98.8	102.5
40～44	227.7	183.8	169.3	157.8	160.1	151.3	153.1
45～49	371.7	295.2	275.6	251.4	248.1	238.2	240.0
50～54	624.6	498.6	448.1	404.9	400.6	384.5	391.5
55～59	906.7	784.7	675.9	658.7	649.8	631.5	615.4
60～64	1 314.9	1 311.6	1 046.2	977.6	945.6	934.9	959.7
65～69	2 159.4	2 002.8	1 559.7	1 455.4	1 425.0	1 460.9	1 512.9
70～74	3 707.7	3 154.7	2 637.3	2 398.1	2 294.4	2 270.9	2 263.3
75～79	6 581.0	5 461.1	4 401.7	4 169.7	4 002.0	3 959.4	3 939.4
80～84	10 799.1	9 484.5	7 328.5	7 040.1	6 855.8	7 046.3	7 067.3
85～89	18 136.2	15 648.6	12 638.9	11 856.9	11 423.9	12 030.9	11 955.9
90～94 ²⁾	25 429.3	26 734.7	20 217.3	19 624.7	19 206.3	20 252.2	20 409.1
95～99	…	…	30 937.2	28 380.0	27 045.0	31 876.6	31 778.0
100歳以上	…	…	46 157.9	39 683.3	34 142.9	48 813.8	50 600.0

注：*印は概数である。

1) 総数には年齢不詳を含む。

2) 昭和60年、平成7年の90～94歳は90歳以上の数値である。

第5表 死亡率（人口10万対）の年次推移，性・年齢（5歳階級）別

女 (3-3)

年 齢	昭和60年	平成7年	17	20	21	22	* 23
総 数 ¹⁾	562.7	664.0	772.3	827.1	826.3	869.2	922.0
0～4歳	131.2	107.2	66.9	66.4	58.8	58.8	68.2
5～9	15.3	15.2	8.6	8.6	8.8	8.1	13.0
10～14	13.1	12.9	7.8	6.4	7.1	7.1	10.0
15～19	23.7	22.9	18.4	18.9	16.2	16.4	20.7
20～24	31.8	30.2	30.5	27.6	28.2	25.7	32.5
25～29	40.7	32.8	32.2	32.6	33.6	29.2	37.6
30～34	55.6	46.6	43.1	42.3	40.6	41.2	45.9
35～39	76.0	63.5	60.2	58.7	58.0	56.5	63.7
40～44	124.1	103.2	86.9	84.7	85.4	82.8	90.5
45～49	184.6	162.1	135.8	131.0	129.8	125.7	141.5
50～54	289.7	246.8	214.9	198.6	192.5	194.1	203.0
55～59	414.9	353.7	297.4	290.6	279.8	279.7	295.1
60～64	663.0	548.9	430.7	401.4	383.8	389.6	414.2
65～69	1 106.4	864.2	659.0	594.7	580.2	596.3	624.4
70～74	1 998.4	1 513.4	1 130.4	1 048.0	987.1	980.2	990.8
75～79	3 871.3	2 814.8	1 998.0	1 881.7	1 792.9	1 787.9	1 810.7
80～84	7 165.7	5 429.7	3 870.6	3 586.8	3 436.6	3 434.2	3 520.4
85～89	13 067.1	10 072.4	7 364.1	7 021.9	6 762.8	6 909.3	6 928.0
90～94 ²⁾	22 490.8	19 574.7	13 480.3	13 193.7	12 925.5	13 117.6	13 373.2
95～99	…	…	22 176.4	21 279.2	20 465.1	23 811.1	23 649.2
100歳以上	…	…	36 310.6	32 731.4	30 631.7	38 518.0	41 342.5

注：*印は概数である。

1) 総数には年齢不詳を含む。

2) 昭和60年、平成7年の90～94歳は90歳以上の数値である。

第6表 死亡数・死亡率（人口10万対），死因简单分類別

(4-1)

死因简单 分類コード	死 因	死 亡 数		死 亡 率		死亡総数 に占める 割合(%)
		*平成23年	平成22年	*平成23年	平成22年	*平成23年
	総 数	1 253 463	1 197 012	993.4	947.1	100.0
01000	感染症及び寄生虫症	26 232	25 863	20.8	20.5	2.1
01100	腸管感染症	2 315	2 313	1.8	1.8	0.2
01200	結 核	2 162	2 129	1.7	1.7	0.2
01201	呼吸器結核	1 906	1 880	1.5	1.5	0.2
01202	その他の結核	256	249	0.2	0.2	0.0
01300	敗 血 症	11 170	10 676	8.9	8.4	0.9
01400	ウイルス肝炎	5 573	5 614	4.4	4.4	0.4
01401	B型ウイルス肝炎	515	539	0.4	0.4	0.0
01402	C型ウイルス肝炎	4 736	4 754	3.8	3.8	0.4
01403	その他のウイルス肝炎	322	321	0.3	0.3	0.0
01500	ヒト免疫不全ウイルス [H I V] 病	53	61	0.0	0.0	0.0
01600	その他の感染症及び寄生虫症	4 959	5 070	3.9	4.0	0.4
02000	新 生 物	367 663	363 641	291.4	287.7	29.3
02100	悪性新生物	357 185	353 499	283.1	279.7	28.5
02101	口唇，口腔及び咽頭の悪性新生物	6 885	6 802	5.5	5.4	0.5
02102	食道の悪性新生物	11 963	11 867	9.5	9.4	1.0
02103	胃の悪性新生物	49 817	50 136	39.5	39.7	4.0
02104	結腸の悪性新生物	31 045	30 040	24.6	23.8	2.5
02105	直腸S状結腸移行部及び 直腸の悪性新生物	14 689	14 198	11.6	11.2	1.2
02106	肝及び肝内胆管の悪性新生物	31 867	32 765	25.3	25.9	2.5
02107	胆のう及び その他の胆道の悪性新生物	18 183	17 585	14.4	13.9	1.5
02108	膵の悪性新生物	28 815	28 017	22.8	22.2	2.3
02109	喉頭の悪性新生物	954	1 002	0.8	0.8	0.1
02110	気管，気管支及び肺の悪性新生物	70 272	69 813	55.7	55.2	5.6
02111	皮膚の悪性新生物	1 453	1 404	1.2	1.1	0.1
02112	乳房の悪性新生物	12 837	12 545	10.2	9.9	1.0
02113	子宮の悪性新生物 ¹⁾	6 071	5 930	9.4	9.1	0.5
02114	卵巣の悪性新生物 ¹⁾	4 705	4 654	7.3	7.2	0.4
02115	前立腺の悪性新生物 ²⁾	10 817	10 722	17.6	17.4	0.9
02116	膀胱の悪性新生物	7 003	6 804	5.6	5.4	0.6

注：*印は概数である。

1) 女性人口10万に対する率である。

2) 男性人口10万に対する率である。

(4-2)

死因簡単 分類コード	死 因	死 亡 数		死 亡 率		死亡総数 に占める 割合(%)
		*平成23年	平成22年	*平成23年	平成22年	*平成23年
02117	中枢神経系の悪性新生物	2 143	1 959	1.7	1.6	0.2
02118	悪性リンパ腫	10 332	10 172	8.2	8.0	0.8
02119	白血 病	8 153	8 078	6.5	6.4	0.7
02120	その他のリンパ組織, 造血組織及び 関連組織の悪性新生物	4 118	4 287	3.3	3.4	0.3
02121	その他の悪性新生物	25 063	24 719	19.9	19.6	2.0
02200	その他の新生物	10 478	10 142	8.3	8.0	0.8
02201	中枢神経系のその他の新生物	2 725	2 589	2.2	2.0	0.2
02202	中枢神経系を除くその他の新生物	7 753	7 553	6.1	6.0	0.6
03000	血液及び造血器の疾患並びに 免疫機構の障害	4 370	4 336	3.5	3.4	0.3
03100	貧 血	1 794	1 812	1.4	1.4	0.1
03200	その他の血液及び造血器の疾患 並びに免疫機構の障害	2 576	2 524	2.0	2.0	0.2
04000	内分泌, 栄養及び代謝疾患	22 084	21 684	17.5	17.2	1.8
04100	糖 尿 病	14 634	14 422	11.6	11.4	1.2
04200	その他の内分泌, 栄養及び代謝疾患	7 450	7 262	5.9	5.7	0.6
05000	精神及び行動の障害	9 494	8 049	7.5	6.4	0.8
05100	血管性及び詳細不明の認知症	7 728	6 451	6.1	5.1	0.6
05200	その他の精神及び行動の障害	1 766	1 598	1.4	1.3	0.1
06000	神経系の疾患	21 963	19 429	17.4	15.4	1.8
06100	髄 膜 炎	322	339	0.3	0.3	0.0
06200	脊髄性筋萎縮症及び関連症候群	2 083	2 007	1.7	1.6	0.2
06300	パーキンソン病	5 697	5 136	4.5	4.1	0.5
06400	アルツハイマー病	5 394	4 166	4.3	3.3	0.4
06500	その他の神経系の疾患	8 467	7 781	6.7	6.2	0.7
07000	眼及び付属器の疾患	13	5	0.0	0.0	0.0
08000	耳及び乳様突起の疾患	15	19	0.0	0.0	0.0
09000	循環器系の疾患	348 513	341 882	276.2	270.5	27.8
09100	高血圧性疾患	7 018	6 760	5.6	5.3	0.6
09101	高血圧性心疾患及び心腎疾患	3 647	3 601	2.9	2.8	0.3
09102	その他の高血圧性疾患	3 371	3 159	2.7	2.5	0.3
09200	心疾患 (高血圧性を除く)	194 761	189 360	154.4	149.8	15.5
09201	慢性リウマチ性心疾患	2 419	2 416	1.9	1.9	0.2
09202	急性心筋梗塞	43 232	42 629	34.3	33.7	3.4
09203	その他の虚血性心疾患	34 520	34 588	27.4	27.4	2.8
09204	慢性非リウマチ性心内膜疾患	9 427	9 125	7.5	7.2	0.8

第6表 死亡数・死亡率（人口10万対），死因簡単分類別

（4-3）

死因簡単 分類コード	死 因	死 亡 数		死 亡 率		死亡総数 に占める 割合(%)
		*平成23年	平成22年	*平成23年	平成22年	*平成23年
09205	心筋症	3 690	3 749	2.9	3.0	0.3
09206	不整脈及び伝導障害	27 332	25 119	21.7	19.9	2.2
09207	心不全	69 335	66 858	54.9	52.9	5.5
09208	その他の心疾患	4 806	4 876	3.8	3.9	0.4
09300	脳血管疾患	123 784	123 461	98.1	97.7	9.9
09301	くも膜下出血	13 453	13 591	10.7	10.8	1.1
09302	脳内出血	34 041	33 695	27.0	26.7	2.7
09303	脳梗塞	73 220	72 885	58.0	57.7	5.8
09304	その他の脳血管疾患	3 070	3 290	2.4	2.6	0.2
09400	大動脈瘤及び解離	15 566	15 209	12.3	12.0	1.2
09500	その他の循環器系疾患	7 384	7 092	5.9	5.6	0.6
10000	呼吸器系の疾患	198 183	187 609	157.1	148.4	15.8
10100	インフルエンザ	569	161	0.5	0.1	0.0
10200	肺炎	124 652	118 888	98.8	94.1	9.9
10300	急性気管支炎	574	581	0.5	0.5	0.0
10400	慢性閉塞性肺疾患	16 620	16 293	13.2	12.9	1.3
10500	喘息	2 057	2 065	1.6	1.6	0.2
10600	その他の呼吸器系の疾患	53 711	49 621	42.6	39.3	4.3
11000	消化器系の疾患	46 599	45 503	36.9	36.0	3.7
11100	胃潰瘍及び十二指腸潰瘍	3 076	3 233	2.4	2.6	0.2
11200	ヘルニア及び腸閉塞	6 432	5 985	5.1	4.7	0.5
11300	肝疾患	16 362	16 216	13.0	12.8	1.3
11301	肝硬変（アルコール性を除く）	8 504	8 597	6.7	6.8	0.7
11302	その他の肝疾患	7 858	7 619	6.2	6.0	0.6
11400	その他の消化器系の疾患	20 729	20 069	16.4	15.9	1.7
12000	皮膚及び皮下組織の疾患	1 461	1 319	1.2	1.0	0.1
13000	筋骨格系及び結合組織の疾患	5 733	5 606	4.5	4.4	0.5
14000	腎尿路生殖器系の疾患	34 664	32 874	27.5	26.0	2.8
14100	糸球体疾患及び腎尿細管間質性疾患	4 070	3 880	3.2	3.1	0.3
14200	腎不全	24 493	23 725	19.4	18.8	2.0
14201	急性腎不全	4 073	4 144	3.2	3.3	0.3
14202	慢性腎不全	15 065	14 366	11.9	11.4	1.2
14203	詳細不明の腎不全	5 355	5 215	4.2	4.1	0.4
14300	その他の腎尿路生殖器系の疾患	6 101	5 269	4.8	4.2	0.5

死因簡単 分類コード	死 因	死 亡 数		死 亡 率		死亡総数 に占める 割合(%)
		*平成23年	平成22年	*平成23年	平成22年	*平成23年
15000	妊娠, 分娩及び産じょく ¹⁾	43	49	0.1	0.1	0.0
16000	周産期に発生した病態	636	639	0.5	0.5	0.1
16100	妊娠期間及び胎児発育に関連する障害	71	65	0.1	0.1	0.0
16200	出産外傷	3	2	0.0	0.0	0.0
16300	周産期に特異的な呼吸障害 及び心血管障害	327	349	0.3	0.3	0.0
16400	周産期に特異的な感染症	49	57	0.0	0.0	0.0
16500	胎児及び新生児の出血性障害 及び血液障害	86	86	0.1	0.1	0.0
16600	その他の周産期に発生した病態	100	80	0.1	0.1	0.0
17000	先天奇形, 変形及び染色体異常	2 100	2 194	1.7	1.7	0.2
17100	神経系の先天奇形	102	105	0.1	0.1	0.0
17200	循環器系の先天奇形	1 076	1 128	0.9	0.9	0.1
17201	心臓の先天奇形	782	859	0.6	0.7	0.1
17202	その他の循環器系の先天奇形	294	269	0.2	0.2	0.0
17300	消化器系の先天奇形	98	97	0.1	0.1	0.0
17400	その他の先天奇形及び変形	529	563	0.4	0.4	0.0
17500	染色体異常, 他に分類されないもの	295	301	0.2	0.2	0.0
18000	症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査 所見で他に分類されないもの	69 490	60 346	55.1	47.7	5.5
18100	老 衰	52 207	45 342	41.4	35.9	4.2
18200	乳幼児突然死症候群	144	147	0.1	0.1	0.0
18300	その他の症状, 徴候及び異常臨床所見 ・異常検査所見で他に分類されないもの	17 139	14 857	13.6	11.8	1.4
20000	傷病及び死亡の外因	94 207	75 965	74.7	60.1	7.5
20100	不慮の事故	59 596	40 732	47.2	32.2	4.8
20101	交通事故	6 644	7 222	5.3	5.7	0.5
20102	転倒・転落	7 165	7 517	5.7	5.9	0.6
20103	不慮の溺死及び溺水	7 340	6 948	5.8	5.5	0.6
20104	不慮の窒息	9 724	9 879	7.7	7.8	0.8
20105	煙, 火及び火炎への曝露	1 468	1 338	1.2	1.1	0.1
20106	有害物質による不慮の中毒及び 有害物質への曝露	871	862	0.7	0.7	0.1
20107	その他の不慮の事故	26 384	6 966	20.9	5.5	2.1
20200	自 殺	28 874	29 554	22.9	23.4	2.3
20300	他 殺	409	437	0.3	0.3	0.0
20400	その他の外因	5 328	5 242	4.2	4.1	0.4
22000	特殊目的用コード	-	-	-	-	-
22100	重症急性呼吸器症候群 [SARS]	-	-	-	-	-

第7表 死因順位¹⁾ (1～5位) 別死亡数・死亡率 (人口10万対), 性・

総数 (3-1)

年 齢	第1位			第2位			第3位		
	死 因	死亡数	死亡率	死 因	死亡数	死亡率	死 因	死亡数	死亡率
総数 ³⁾	悪性新生物	357 185	283.1	心 疾 患	194 761	154.4	肺 炎	124 652	98.8
0歳 ²⁾	先天奇形等	861	81.9	呼吸障害等	320	30.5	不慮の事故	197	18.7
1～4	不慮の事故	381	9.1	先天奇形等	162	3.9	悪性新生物	79	1.9
5～9	不慮の事故	353	6.5	悪性新生物	99	1.8	その他の新生物	36	0.7
10～14	不慮の事故	283	4.8	悪性新生物	112	1.9	自 殺	75	1.3
15～19	不慮の事故	660	11.0	自 殺	508	8.5	悪性新生物	159	2.6
20～24	自 殺	1 410	22.9	不慮の事故	754	12.2	悪性新生物	220	3.6
25～29	自 殺	1 685	24.1	不慮の事故	783	11.2	悪性新生物	324	4.6
30～34	自 殺	1 829	23.2	不慮の事故	888	11.2	悪性新生物	732	9.3
35～39	自 殺	2 367	24.8	悪性新生物	1 643	17.2	不慮の事故	1 153	12.1
40～44	悪性新生物	2 836	31.0	自 殺	2 405	26.3	不慮の事故	1 418	15.5
45～49	悪性新生物	4 628	59.0	自 殺	2 348	30.0	心 疾 患	1 750	22.3
50～54	悪性新生物	8 348	110.6	心 疾 患	2 732	36.2	自 殺	2 446	32.4
55～59	悪性新生物	16 420	199.1	心 疾 患	4 284	51.9	脳血管疾患	2 784	33.8
60～64	悪性新生物	34 152	323.0	心 疾 患	8 584	81.2	脳血管疾患	5 322	50.3
65～69	悪性新生物	38 371	490.7	心 疾 患	9 946	127.2	脳血管疾患	6 238	79.8
70～74	悪性新生物	48 069	672.1	心 疾 患	14 284	199.7	脳血管疾患	9 652	135.0
75～79	悪性新生物	61 046	997.2	心 疾 患	23 264	380.0	脳血管疾患	15 990	261.2
80～84	悪性新生物	62 826	1 401.7	心 疾 患	34 802	776.5	肺 炎	24 891	555.4
85～89	悪性新生物	46 364	1 772.3	心 疾 患	40 099	1 532.8	肺 炎	30 768	1 176.1
90～94	心 疾 患	32 111	2 976.0	肺 炎	25 081	2 324.5	悪性新生物	22 553	2 090.2
95～99	心 疾 患	16 276	5 150.6	老 衰	13 735	4 346.5	肺 炎	12 563	3 975.6
100歳以上	老 衰	5 691	12 108.5	心 疾 患	3 685	7 840.4	肺 炎	2 957	6 291.5

注：1) [1] 乳児（0歳）の死因については乳児死因順位に用いる分類項目を使用している。

[2] 死因名は次のように略称した。

心疾患←心疾患（高血圧性を除く）

先天奇形等←先天奇形，変形及び染色体異常

呼吸障害等←周産期に特異的な呼吸障害及び心血管障害

出血性障害等←胎児及び新生児の出血性障害及び血液障害

2) 0歳の死亡率は出生10万に対する率である。

3) 総数には年齢不詳を含む。

年齢（5歳階級）別

平成23年

第4位			第5位			年 齢
死 因	死亡数	死亡率	死 因	死亡数	死亡率	
脳血管疾患	123 784	98.1	不慮の事故	59 596	47.2	総数 ³⁾
乳幼児突然死症候	129	12.3	出血性障害等	85	8.1	0歳 ²⁾
肺炎	75	1.8	心疾患	57	1.4	1～4
先天奇形等	32	0.6	心疾患	27	0.5	5～9
心疾患	28	0.5	先天奇形等	25	0.4	10～14
心疾患	75	1.2	先天奇形等	30	0.5	15～19
心疾患	136	2.2	肺炎	31	0.5	20～24
心疾患	202	2.9	脳血管疾患	62	0.9	25～29
心疾患	370	4.7	脳血管疾患	152	1.9	30～34
心疾患	692	7.2	脳血管疾患	475	5.0	35～39
心疾患	1 250	13.7	脳血管疾患	868	9.5	40～44
不慮の事故	1 512	19.3	脳血管疾患	1 270	16.2	45～49
不慮の事故	2 015	26.7	脳血管疾患	1 856	24.6	50～54
不慮の事故	2 742	33.2	自殺	2 625	31.8	55～59
不慮の事故	4 215	39.9	自殺	3 015	28.5	60～64
不慮の事故	4 384	56.1	肺炎	3 383	43.3	65～69
肺炎	6 689	93.5	不慮の事故	6 005	84.0	70～74
肺炎	13 980	228.4	不慮の事故	7 892	128.9	75～79
脳血管疾患	23 731	529.5	不慮の事故	9 161	204.4	80～84
脳血管疾患	25 593	978.3	老 衰	10 516	402.0	85～89
脳血管疾患	19 125	1 772.5	老 衰	16 100	1 492.1	90～94
脳血管疾患	8 821	2 791.5	悪性新生物	7 225	2 286.4	95～99
脳血管疾患	1 744	3 710.6	悪性新生物	953	2 027.7	100歳以上

第7表 死因順位¹⁾ (1～5位) 別死亡数・死亡率 (人口10万対), 性・

男 (3-2)

年 齢	第1位			第2位			第3位		
	死 因	死亡数	死亡率	死 因	死亡数	死亡率	死 因	死亡数	死亡率
総 数 ³⁾	悪性新生物	213 109	346.8	心 疾 患	91 188	148.4	肺 炎	66 547	108.3
0 歳 ²⁾	先天奇形等	405	75.2	呼吸障害等	157	29.2	不慮の事故	121	22.5
1～4	不慮の事故	196	9.1	先天奇形等	75	3.5	悪性新生物	44	2.0
5～9	不慮の事故	182	6.5	悪性新生物	55	2.0	その他の新生物	22	0.8
10～14	不慮の事故	160	5.3	悪性新生物	62	2.1	自 殺	53	1.8
15～19	不慮の事故	422	13.7	自 殺	341	11.0	悪性新生物	99	3.2
20～24	自 殺	961	30.4	不慮の事故	530	16.8	悪性新生物	137	4.3
25～29	自 殺	1 126	31.5	不慮の事故	518	14.5	悪性新生物	170	4.8
30～34	自 殺	1 277	31.8	不慮の事故	572	14.2	悪性新生物	331	8.2
35～39	自 殺	1 683	34.7	不慮の事故	750	15.4	悪性新生物	653	13.5
40～44	自 殺	1 740	37.5	悪性新生物	1 217	26.2	心 疾 患	974	21.0
45～49	悪性新生物	2 128	53.9	自 殺	1 743	44.1	心 疾 患	1 366	34.6
50～54	悪性新生物	4 436	117.4	心 疾 患	2 243	59.4	自 殺	1 805	47.8
55～59	悪性新生物	9 771	238.7	心 疾 患	3 390	82.8	自 殺	1 989	48.6
60～64	悪性新生物	22 286	429.5	心 疾 患	6 652	128.2	脳血管疾患	3 689	71.1
65～69	悪性新生物	26 078	697.8	心 疾 患	7 243	193.8	脳血管疾患	4 331	115.9
70～74	悪性新生物	32 489	978.6	心 疾 患	9 450	284.6	脳血管疾患	6 360	191.6
75～79	悪性新生物	39 909	1 495.3	心 疾 患	13 562	508.1	脳血管疾患	9 805	367.4
80～84	悪性新生物	38 385	2 183.4	心 疾 患	17 439	992.0	肺 炎	15 889	903.8
85～89	悪性新生物	23 509	2 853.0	肺 炎	15 939	1 934.3	心 疾 患	15 109	1 833.6
90～94	肺 炎	9 784	3 882.5	悪性新生物	8 855	3 513.9	心 疾 患	8 671	3 440.9
95～99	肺 炎	3 842	6 511.9	心 疾 患	3 301	5 594.9	老 衰	2 302	3 901.7
100歳以上	老 衰	712	11 866.7	肺 炎	618	10 300.0	心 疾 患	525	8 750.0

注：1) [1] 乳児（0歳）の死因については乳児死因順位に用いる分類項目を使用している。

[2] 死因名は次のように略称した。

心疾患←心疾患（高血圧性を除く）

先天奇形等←先天奇形，変形及び染色体異常

呼吸障害等←周産期に特異的な呼吸障害及び心血管障害

出血性障害等←胎児及び新生児の出血性障害及び血液障害

2) 0歳の死亡率は出生10万に対する率である。

3) 総数には年齢不詳を含む。

年齢（5歳階級）別

平成23年

第4位			第5位			年 齢
死 因	死亡数	死亡率	死 因	死亡数	死亡率	
脳血管疾患	59 577	96.9	不慮の事故	32 540	53.0	総数 ³⁾
乳幼児突然死症候群	71	13.2	出血性障害等	42	7.8	0歳 ²⁾
肺炎	36	1.7	心疾患	24	1.1	1～4
心疾患	17	0.6	先天奇形等	17	0.6	5～9
その他の新生物	16	0.5	心疾患	16	0.5	10～14
心疾患	56	1.8	先天奇形等	18	0.6	15～19
心疾患	100	3.2	脳血管疾患	17	0.5	20～24
心疾患	153	4.3	脳血管疾患	39	1.1	25～29
心疾患	284	7.1	脳血管疾患	100	2.5	30～34
心疾患	539	11.1	脳血管疾患	317	6.5	35～39
不慮の事故	920	19.8	脳血管疾患	595	12.8	40～44
不慮の事故	944	23.9	脳血管疾患	854	21.6	45～49
不慮の事故	1 296	34.3	脳血管疾患	1 274	33.7	50～54
脳血管疾患	1 955	47.8	不慮の事故	1 719	42.0	55～59
不慮の事故	2 771	53.4	自 殺	2 183	42.1	60～64
不慮の事故	2 664	71.3	肺炎	2 592	69.4	65～69
肺炎	4 967	149.6	不慮の事故	3 480	104.8	70～74
肺炎	9 778	366.4	不慮の事故	4 465	167.3	75～79
脳血管疾患	12 617	717.7	不慮の事故	4 966	282.5	80～84
脳血管疾患	10 300	1 250.0	不慮の事故	3 387	411.0	85～89
脳血管疾患	5 338	2 118.3	老 衰	3 529	1 400.4	90～94
悪性新生物	2 252	3 816.9	脳血管疾患	1 727	2 927.1	95～99
悪性新生物	226	3 766.7	脳血管疾患	214	3 566.7	100歳以上

第7表 死因順位¹⁾ (1～5位) 別死亡数・死亡率 (人口10万対), 性・

女 (3-3)

年 齢	第1位			第2位			第3位		
	死 因	死亡数	死亡率	死 因	死亡数	死亡率	死 因	死亡数	死亡率
総数 ³⁾	悪性新生物	144 076	222.6	心 疾 患	103 573	160.0	脳 血 管 疾 患	64 207	99.2
0歳 ²⁾	先天奇形等	456	89.0	呼吸障害等	163	31.8	不慮の事故	76	14.8
1～4	不慮の事故	185	9.0	先天奇形等	87	4.2	肺 炎	39	1.9
5～9	不慮の事故	171	6.4	悪性新生物	44	1.7	先天奇形等	15	0.6
10～14	不慮の事故	123	4.3	悪性新生物	50	1.7	自 殺	22	0.8
15～19	不慮の事故	238	8.1	自 殺	167	5.7	悪性新生物	60	2.1
20～24	自 殺	449	14.9	不慮の事故	224	7.4	悪性新生物	83	2.8
25～29	自 殺	559	16.3	不慮の事故	265	7.7	悪性新生物	154	4.5
30～34	自 殺	552	14.2	悪性新生物	401	10.3	不慮の事故	316	8.1
35～39	悪性新生物	990	21.1	自 殺	684	14.6	不慮の事故	403	8.6
40～44	悪性新生物	1 619	35.9	自 殺	665	14.7	不慮の事故	498	11.0
45～49	悪性新生物	2 500	64.3	自 殺	605	15.6	不慮の事故	568	14.6
50～54	悪性新生物	3 912	103.8	不慮の事故	719	19.1	自 殺	641	17.0
55～59	悪性新生物	6 649	160.1	不慮の事故	1 023	24.6	心 疾 患	894	21.5
60～64	悪性新生物	11 866	220.5	心 疾 患	1 932	35.9	脳 血 管 疾 患	1 633	30.3
65～69	悪性新生物	12 293	301.2	心 疾 患	2 703	66.2	脳 血 管 疾 患	1 907	46.7
70～74	悪性新生物	15 580	406.7	心 疾 患	4 834	126.2	脳 血 管 疾 患	3 292	85.9
75～79	悪性新生物	21 137	612.5	心 疾 患	9 702	281.1	脳 血 管 疾 患	6 185	179.2
80～84	悪性新生物	24 441	897.9	心 疾 患	17 363	637.9	脳 血 管 疾 患	11 114	408.3
85～89	心 疾 患	24 990	1 393.8	悪性新生物	22 855	1 274.7	脳 血 管 疾 患	15 293	852.9
90～94	心 疾 患	23 440	2 834.3	肺 炎	15 297	1 849.7	脳 血 管 疾 患	13 787	1 667.1
95～99	心 疾 患	12 975	5 009.7	老 衰	11 433	4 414.3	肺 炎	8 721	3 367.2
100歳以上	老 衰	4 979	12 447.5	心 疾 患	3 160	7 900.0	肺 炎	2 339	5 847.5

注：1) [1] 乳児（0歳）の死因については乳児死因順位に用いる分類項目を使用している。

[2] 死因名は次のように略称した。

心疾患←心疾患（高血圧性を除く）

先天奇形等←先天奇形，変形及び染色体異常

呼吸障害等←周産期に特異的な呼吸障害及び心血管障害

出血性障害等←胎児及び新生児の出血性障害及び血液障害

2) 0歳の死亡率は出生10万に対する率である。

3) 総数には年齢不詳を含む。

年齢（5歳階級）別

平成23年

第4位			第5位			年 齢
死 因	死亡数	死亡率	死 因	死亡数	死亡率	
肺 炎	58 105	89.8	老 衰	39 698	61.3	総 数 ³⁾
乳幼児突然死症候群	58	11.3	出血性障害等	43	8.4	0歳 ²⁾
悪性新生物	35	1.7	心 疾 患	33	1.6	1～4
その他の新生物	14	0.5	心 疾 患	10	0.4	5～9
心 疾 患	12	0.4	先 天 奇 形 等	12	0.4	10～14
心 疾 患	19	0.6	先 天 奇 形 等	12	0.4	15～19
心 疾 患	36	1.2	肺 炎	15	0.5	20～24
心 疾 患	49	1.4	脳 血 管 疾 患	23	0.7	25～29
心 疾 患	86	2.2	脳 血 管 疾 患	52	1.3	30～34
脳 血 管 疾 患	158	3.4	心 疾 患	153	3.3	35～39
心 疾 患	276	6.1	脳 血 管 疾 患	273	6.0	40～44
脳 血 管 疾 患	416	10.7	心 疾 患	384	9.9	45～49
脳 血 管 疾 患	582	15.4	心 疾 患	489	13.0	50～54
脳 血 管 疾 患	829	20.0	自 殺	636	15.3	55～59
不慮の事故	1 444	26.8	自 殺	832	15.5	60～64
不慮の事故	1 720	42.1	肺 炎	791	19.4	65～69
不慮の事故	2 525	65.9	肺 炎	1 722	44.9	70～74
肺 炎	4 202	121.8	不慮の事故	3 427	99.3	75～79
肺 炎	9 002	330.7	不慮の事故	4 195	154.1	80～84
肺 炎	14 829	827.0	老 衰	7 364	410.7	85～89
悪性新生物	13 698	1 656.3	老 衰	12 571	1 520.1	90～94
脳 血 管 疾 患	7 094	2 739.0	悪性新生物	4 973	1 920.1	95～99
脳 血 管 疾 患	1 530	3 825.0	悪性新生物	727	1 817.5	100歳以上

第8表 人口動態総覧，都道府県（20大都市再掲）別

都道府県 ¹⁾	出生数			死亡数			(再掲)			新生児死亡数
	総数	男	女	総数	男	女	乳児死亡数			
							総数	男	女	
全 国	1 050 698	538 216	512 482	1 253 463	656 692	596 771	2 463	1 269	1 194	1 147
北海道	39 292	20 010	19 282	56 972	30 297	26 675	84	38	46	41
青森	9 531	4 772	4 759	16 419	8 679	7 740	23	13	10	8
岩手	9 310	4 696	4 614	22 268	11 199	11 069	43	27	16	5
宮城	18 062	9 196	8 866	33 986	16 992	16 994	85	44	41	27
秋田	6 658	3 400	3 258	14 642	7 519	7 123	15	7	8	5
山形	8 555	4 324	4 231	14 877	7 588	7 289	28	13	15	17
福島	15 072	7 711	7 361	26 076	13 383	12 693	34	21	13	10
茨城	23 219	12 050	11 169	29 911	15 985	13 926	56	23	33	25
栃木	15 913	8 231	7 682	20 468	10 796	9 672	38	21	17	16
群馬	15 637	7 994	7 643	20 930	11 006	9 924	33	14	19	21
埼玉	58 058	29 917	28 141	57 669	31 526	26 143	109	67	42	48
千叶	50 377	25 770	24 607	51 683	28 004	23 679	117	58	59	59
東京都	106 025	54 332	51 693	105 708	56 596	49 112	216	112	104	98
神奈川	75 998	39 072	36 926	70 944	38 930	32 014	209	114	95	111
新潟	17 667	9 170	8 497	27 318	14 111	13 207	32	15	17	19
富山	7 822	4 074	3 748	12 264	6 235	6 029	16	9	7	6
石川	9 555	4 931	4 624	11 962	6 074	5 888	14	9	5	10
福井	6 728	3 468	3 260	8 761	4 403	4 358	12	11	1	3
山梨	6 412	3 283	3 129	9 358	4 893	4 465	9	5	4	2
長野	16 917	8 753	8 164	23 886	12 017	11 869	32	13	19	19
岐阜	16 851	8 654	8 197	21 054	11 000	10 054	49	28	21	28
静岡	31 172	15 932	15 240	37 301	19 580	17 721	70	38	32	30
愛知	68 973	35 376	33 597	59 719	32 205	27 514	176	86	90	75
三重	15 080	7 742	7 338	19 271	10 038	9 233	37	15	22	16
滋賀	13 338	6 863	6 475	11 884	6 181	5 703	28	17	11	16
京都	20 707	10 535	10 172	24 732	12 540	12 192	40	20	20	16
大阪	73 918	37 553	36 365	78 951	42 528	36 423	170	87	83	85
兵庫県	47 351	24 196	23 155	52 258	27 514	24 744	96	52	44	41
奈良	10 400	5 299	5 101	13 267	6 756	6 511	14	6	8	9
和歌山	7 460	3 750	3 710	12 310	6 147	6 163	23	13	10	15
鳥取	4 931	2 477	2 454	6 957	3 467	3 490	10	3	7	5
島根	5 582	2 816	2 766	9 410	4 788	4 622	11	4	7	5
岡山	16 635	8 611	8 024	20 408	10 519	9 889	39	15	24	17
広島	25 467	12 990	12 477	28 608	14 787	13 821	53	34	19	20
山口	11 125	5 695	5 430	17 884	8 995	8 889	24	17	7	13
徳島	5 914	3 061	2 853	9 435	4 757	4 678	30	18	12	15
香川	8 311	4 342	3 969	11 316	5 830	5 486	23	13	10	12
愛媛	11 329	5 813	5 516	16 950	8 647	8 303	13	6	7	4
高知	5 244	2 654	2 590	9 884	4 957	4 927	18	13	5	9
福岡	46 220	23 672	22 548	48 110	24 579	23 531	116	49	67	56
佐賀	7 613	3 890	3 723	9 472	4 720	4 752	12	7	5	5
長崎	11 727	6 074	5 653	16 645	8 375	8 270	32	18	14	21
熊本	16 118	8 440	7 678	20 008	9 864	10 144	31	14	17	13
大分	9 988	5 096	4 892	13 805	7 056	6 749	32	16	16	16
宮崎	10 152	5 199	4 953	12 980	6 616	6 364	30	13	17	16
鹿児島	15 244	7 725	7 519	21 047	10 364	10 683	36	14	22	15
沖縄	16 918	8 542	8 376	10 686	5 720	4 966	40	17	23	21
外国不詳	122	65	57	198	135	63	2	1	1	1
(再掲)	・	・	・	2 811	1 794	1 017	3	1	2	2
東京都区部	72 993	37 391	35 602	72 599	38 933	33 666	158	78	80	72
札幌市	14 491	7 378	7 113	15 926	8 511	7 415	40	20	20	20
仙台市	8 851	4 498	4 353	8 854	4 699	4 155	33	12	21	17
さいたま市	10 780	5 611	5 169	8 777	4 758	4 019	27	16	11	10
千葉市	7 808	3 955	3 853	7 244	3 960	3 284	21	8	13	13
横浜市	30 732	15 848	14 884	28 249	15 477	12 772	83	44	39	41
川崎市	14 306	7 375	6 931	9 684	5 528	4 156	39	25	14	21
相模原市	5 822	3 029	2 793	5 045	2 772	2 273	14	6	8	7
新潟市	6 387	3 331	3 056	7 798	4 098	3 700	13	9	4	8
静岡市	5 771	2 987	2 784	7 329	3 811	3 518	11	5	6	3
浜松市	7 002	3 558	3 444	7 304	3 837	3 467	17	6	11	9
名古屋市	19 868	10 221	9 647	19 594	10 545	9 049	59	31	28	29
京都市	11 252	5 756	5 496	13 622	6 876	6 746	25	14	11	10
大阪市	22 992	11 869	11 123	26 681	14 856	11 825	55	33	22	25
堺市	7 350	3 746	3 604	7 394	3 928	3 466	18	8	10	9
神戸市	12 720	6 476	6 244	14 289	7 477	6 812	19	9	10	7
岡山市	6 698	3 440	3 258	6 167	3 215	2 952	16	6	10	10
広島市	11 484	5 896	5 588	9 409	4 881	4 528	19	12	7	8
北九州市	8 377	4 333	4 044	10 380	5 332	5 048	22	12	10	11
福岡市	14 370	7 326	7 044	10 456	5 395	5 061	45	19	26	22

注：1) 都道府県別の表章は出生は子の住所、死亡は死亡者の住所、死産は母の住所、婚姻は夫の住所、離婚は別居する前の住所による。

自 然 増 減 数	死 産 数			周 産 期 死 亡 数			婚 姻 件 数	離 婚 件 数	都 道 府 県 ¹⁾
	総 数	自然死産	人工死産	総 数	妊娠満22週 以後の死産	早期新生児 死亡			
△ 202 765	25 755	11 946	13 809	4 314	3 490	824	661 899	235 734	全 国
△ 17 680	1 311	515	796	169	139	30	26 518	11 847	北 海 道
△ 6 888	256	120	136	40	33	7	5 583	2 377	青 森 県
△ 12 958	256	113	143	46	45	1	5 344	2 038	岩 手 県
△ 15 924	484	224	260	66	49	17	11 411	3 827	宮 城 県
△ 7 984	192	101	91	27	23	4	4 058	1 555	秋 田 県
△ 6 322	218	120	98	38	24	14	4 739	1 704	山 形 県
△ 11 004	401	186	215	54	49	5	8 796	3 341	福 島 県
△ 6 692	558	254	304	94	76	18	14 381	5 079	茨 城 県
△ 4 555	393	186	207	68	57	11	10 069	3 654	栃 木 県
△ 5 293	360	166	194	67	54	13	9 147	3 530	群 馬 県
△ 389	1 394	705	689	255	224	31	36 227	13 547	埼 千 県
△ 1 306	1 136	629	507	220	180	40	32 186	11 591	玉 葉 県
△ 317	2 482	1 139	1 343	395	329	66	86 888	24 932	東 京 都
△ 5 054	1 704	821	883	327	245	82	50 806	16 793	神 奈 川 県
△ 9 651	432	203	229	76	61	15	10 278	3 253	新 潟 県
△ 4 442	187	95	92	37	33	4	4 628	1 432	富 山 県
△ 2 407	221	136	85	49	44	5	5 467	1 711	石 川 県
△ 2 033	178	96	82	38	35	3	3 727	1 171	福 井 県
△ 2 946	157	75	82	29	27	2	3 922	1 511	山 梨 県
△ 6 969	370	172	198	49	38	11	9 985	3 443	山 梨 県
△ 4 203	337	149	188	73	50	23	9 647	3 385	岐 阜 県
△ 6 129	720	375	345	132	109	23	19 093	6 805	静 岡 県
△ 9 254	1 373	683	690	262	209	53	42 426	13 451	愛 知 県
△ 4 191	334	168	166	68	58	10	8 947	3 264	三 重 県
△ 1 454	272	142	130	58	44	14	7 567	2 341	滋 賀 県
△ 4 025	476	225	251	83	71	12	12 901	4 713	京 都 府
△ 5 033	1 785	778	1 007	305	243	62	48 581	19 410	大 阪 府
△ 4 907	1 028	526	502	169	139	30	28 283	10 308	兵 庫 府
△ 2 867	293	152	141	53	47	6	6 260	2 423	奈 良 県
△ 4 850	162	71	91	26	17	9	4 601	1 890	和 歌 山 県
△ 2 026	116	51	65	14	11	3	2 697	1 041	鳥 取 県
△ 3 828	136	51	85	13	9	4	3 058	1 043	島 根 県
△ 3 773	404	176	228	58	46	12	9 665	3 493	岡 山 県
△ 3 141	605	276	329	95	80	15	14 849	5 133	広 島 県
△ 6 759	263	126	137	49	37	12	6 549	2 414	山 口 県
△ 3 521	128	57	71	27	15	12	3 380	1 367	徳 島 県
△ 3 005	160	75	85	26	16	10	4 896	1 765	香 川 県
△ 5 621	340	154	186	54	50	4	6 445	2 666	愛 媛 県
△ 4 640	175	78	97	30	23	7	3 099	1 406	高 知 県
△ 1 890	1 314	497	817	202	157	45	28 008	10 654	福 岡 県
△ 1 859	189	83	106	34	29	5	4 015	1 516	佐 賀 県
△ 4 918	332	133	199	56	40	16	6 337	2 435	長 崎 県
△ 3 890	471	179	292	50	42	8	8 730	3 292	熊 本 県
△ 3 817	301	112	189	43	32	11	5 667	2 110	大 分 県
△ 2 828	335	122	213	44	35	9	5 512	2 354	宮 崎 県
△ 5 803	449	173	276	69	56	13	8 125	3 149	鹿 児 島 県
△ 6 232	556	272	284	72	58	14	8 401	3 570	沖 縄 県
△ 76	10	5	5	3	2	1	.	.	外 国
.	1	1	-	2	-	2	.	.	不 詳
△ 394	1 792	813	979	276	229	47	65 198	17 685	(再 掲)
△ 1 435	505	193	312	71	57	14	10 576	4 643	東 京 都 区 部
△ 3	220	95	125	36	25	11	5 941	1 775	札 幌 市
△ 2 003	223	116	107	36	30	6	6 646	2 153	仙 台 市
△ 564	159	97	62	36	26	10	4 981	1 832	さい たま 市
△ 2 483	679	321	358	119	92	27	20 894	6 697	千 葉 市
△ 4 622	302	155	147	51	36	15	10 334	2 512	横 浜 市
△ 777	118	50	68	19	13	6	3 727	1 436	川 崎 市
△ 1 411	157	60	97	26	20	6	3 903	1 186	相 模 原 市
△ 1 558	160	84	76	24	22	2	3 627	1 227	新 潟 市
△ 302	141	73	68	30	24	6	4 192	1 378	静 岡 市
△ 274	437	206	231	84	65	19	13 871	4 497	浜 松 市
△ 2 370	262	128	134	49	40	9	7 880	2 773	名 古 屋 市
△ 3 689	568	236	332	94	77	17	17 811	6 777	京 都 府
△ 44	171	71	100	30	24	6	4 467	1 818	大 阪 府
△ 1 569	262	133	129	36	30	6	7 952	3 044	堺 市
△ 531	152	70	82	25	18	7	3 943	1 425	神 戸 市
△ 2 075	251	111	140	41	36	5	6 775	2 249	岡 山 市
△ 2 003	261	81	180	26	17	9	5 197	2 080	広 島 市
△ 3 914	374	164	210	78	61	17	10 004	3 122	北 九 州 市
									福 岡 市

第9表 人口動態総覧（率），都道府県（20大都市再掲）別

都道府県	出生率	死亡率	乳児死亡率	新生児死亡率	自然増減率
	(人口千対)		(出生千対)		(人口千対)
全国	8.3	9.9	2.3	1.1	△ 1.6
北海道	7.2	10.4	2.1	1.0	△ 3.2
青森	7.0	12.1	2.4	0.8	△ 5.1
岩手	7.1	17.0	4.6	0.5	△ 9.9
宮城	7.8	14.7	4.7	1.5	△ 6.9
秋田	6.2	13.7	2.3	0.8	△ 7.4
山形	7.4	12.9	3.3	2.0	△ 5.5
福島	7.6	13.2	2.3	0.7	△ 5.6
茨城	8.0	10.2	2.4	1.1	△ 2.3
栃木	8.1	10.4	2.4	1.0	△ 2.3
群馬	8.0	10.6	2.1	1.3	△ 2.7
埼玉	8.2	8.1	1.9	0.8	0.1
千葉県	8.2	8.4	2.3	1.2	△ 0.2
東京都	8.2	8.2	2.0	0.9	0.0
神奈川県	8.5	7.9	2.8	1.5	0.6
新潟	7.5	11.6	1.8	1.1	△ 4.1
富山	7.3	11.4	2.0	0.8	△ 4.1
石川	8.3	10.3	1.5	1.0	△ 2.1
福井	8.5	11.0	1.8	0.4	△ 2.6
山梨	7.6	11.1	1.4	0.3	△ 3.5
長野	8.0	11.3	1.9	1.1	△ 3.3
岐阜	8.3	10.3	2.9	1.7	△ 2.1
静岡県	8.4	10.1	2.2	1.0	△ 1.7
愛知県	9.5	8.2	2.6	1.1	1.3
三重	8.3	10.6	2.5	1.1	△ 2.3
滋賀	9.6	8.5	2.1	1.2	1.0
京都	8.0	9.5	1.9	0.8	△ 1.6
大阪府	8.5	9.1	2.3	1.1	△ 0.6
兵庫県	8.6	9.5	2.0	0.9	△ 0.9
奈良	7.5	9.6	1.3	0.9	△ 2.1
和歌山	7.5	12.4	3.1	2.0	△ 4.9
鳥取	8.5	12.0	2.0	1.0	△ 3.5
島根	7.9	13.3	2.0	0.9	△ 5.4
岡山	8.7	10.6	2.3	1.0	△ 2.0
広島	9.0	10.1	2.1	0.8	△ 1.1
山口	7.8	12.5	2.2	1.2	△ 4.7
徳島	7.6	12.2	5.1	2.5	△ 4.5
香川	8.4	11.5	2.8	1.4	△ 3.1
愛媛	8.0	12.0	1.1	0.4	△ 4.0
高知	6.9	13.1	3.4	1.7	△ 6.1
福岡	9.2	9.5	2.5	1.2	△ 0.4
佐賀	9.0	11.2	1.6	0.7	△ 2.2
長崎	8.3	11.8	2.7	1.8	△ 3.5
熊本	8.9	11.1	1.9	0.8	△ 2.2
大分	8.4	11.7	3.2	1.6	△ 3.2
宮崎	9.0	11.5	3.0	1.6	△ 2.5
鹿児島	9.0	12.4	2.4	1.0	△ 3.4
沖縄	12.1	7.7	2.4	1.2	4.5
(再掲)					
東京都区部	8.1	8.1	2.2	1.0	0.0
札幌市	7.5	8.3	2.8	1.4	△ 0.7
仙台市	8.4	8.4	3.7	1.9	0.0
さいたま市	8.8	7.1	2.5	0.9	1.6
千葉市	8.1	7.5	2.7	1.7	0.6
横浜市	8.3	7.7	2.7	1.3	0.7
川崎市	10.0	6.8	2.7	1.5	3.2
相模原市	8.1	7.0	2.4	1.2	1.1
新潟市	7.9	9.6	2.0	1.3	△ 1.7
静岡市	8.1	10.3	1.9	0.5	△ 2.2
浜松市	8.8	9.1	2.4	1.3	△ 0.4
名古屋市	8.8	8.6	3.0	1.5	0.1
京都市	7.6	9.2	2.2	0.9	△ 1.6
大阪市	8.6	10.0	2.4	1.1	△ 1.4
堺市	8.7	8.8	2.4	1.2	△ 0.1
神戸市	8.2	9.3	1.5	0.6	△ 1.0
岡山市	9.4	8.7	2.4	1.5	0.7
広島市	9.7	8.0	1.7	0.7	1.8
北九州市	8.6	10.7	2.6	1.3	△ 2.1
福岡市	9.7	7.1	3.1	1.5	2.6

注：1) 死亡率は死産数を出産数（死産数に出生数を加えたもの）で除している。
 2) 周産期死亡率を出産数（妊娠満22週以後の死産数に出生数を加えたもの）で除している。

死産率 ¹⁾	自然死産率 (出 産 千 対)	人工死産率	周産期死亡率 ²⁾ (出産千対)	婚 姻 率 (人 口 千 対)	離 婚 率	都 道 府 県
23.9	11.1	12.8	4.1	5.2	1.87	全 国
32.3	12.7	19.6	4.3	4.9	2.17	北 海 道
26.2	12.3	13.9	4.2	4.1	1.75	青 森 県
26.8	11.8	14.9	4.9	4.1	1.56	岩 手 県
26.1	12.1	14.0	3.6	4.9	1.65	宮 城 県
28.0	14.7	13.3	4.0	3.8	1.45	秋 田 県
24.8	13.7	11.2	4.4	4.1	1.47	山 形 県
25.9	12.0	13.9	3.6	4.4	1.69	福 島 県
23.5	10.7	12.8	4.0	4.9	1.74	茨 城 県
24.1	11.4	12.7	4.3	5.1	1.85	栃 木 県
22.5	10.4	12.1	4.3	4.7	1.80	群 馬 県
23.4	11.9	11.6	4.4	5.1	1.90	埼 玉 県
22.1	12.2	9.8	4.4	5.2	1.89	千 葉 県
22.9	10.5	12.4	3.7	6.8	1.94	東 京 都
21.9	10.6	11.4	4.3	5.7	1.88	神 奈 川 県
23.9	11.2	12.7	4.3	4.4	1.38	新 潟 県
23.3	11.9	11.5	4.7	4.3	1.33	富 山 県
22.6	13.9	8.7	5.1	4.7	1.48	石 川 県
25.8	13.9	11.9	5.6	4.7	1.48	福 山 県
23.9	11.4	12.5	4.5	4.6	1.79	山 梨 県
21.4	9.9	11.5	2.9	4.7	1.63	長 野 県
19.6	8.7	10.9	4.3	4.7	1.66	岐 阜 県
22.6	11.8	10.8	4.2	5.2	1.84	静 岡 県
19.5	9.7	9.8	3.8	5.8	1.85	愛 知 県
21.7	10.9	10.8	4.5	4.9	1.80	三 重 県
20.0	10.4	9.6	4.3	5.4	1.68	滋 賀 県
22.5	10.6	11.8	4.0	5.0	1.82	京 都 府
23.6	10.3	13.3	4.1	5.6	2.23	大 阪 府
21.2	10.9	10.4	3.6	5.1	1.87	兵 庫 県
27.4	14.2	13.2	5.1	4.5	1.75	和 歌 山 県
21.3	9.3	11.9	3.5	4.6	1.91	鳥 取 県
23.0	10.1	12.9	2.8	4.6	1.79	島 根 県
23.8	8.9	14.9	2.3	4.3	1.47	岡 山 県
23.7	10.3	13.4	3.5	5.0	1.82	山 梨 県
23.2	10.6	12.6	3.7	5.3	1.82	山 口 県
23.1	11.1	12.0	4.4	4.6	1.69	徳 島 県
21.2	9.4	11.8	4.6	4.4	1.76	香 川 県
18.9	8.9	10.0	3.1	5.0	1.79	愛 媛 県
29.1	13.2	15.9	4.7	4.6	1.88	高 知 県
32.3	14.4	17.9	5.7	4.1	1.86	福 岡 県
27.6	10.5	17.2	4.4	5.6	2.11	佐 賀 県
24.2	10.6	13.6	4.4	4.8	1.80	長 崎 県
27.5	11.0	16.5	4.8	4.5	1.73	熊 本 県
28.4	10.8	17.6	3.1	4.8	1.82	大 分 県
29.3	10.9	18.4	4.3	4.8	1.78	宮 崎 県
31.9	11.6	20.3	4.3	4.9	2.09	鹿 児 島 県
28.6	11.0	17.6	4.5	4.8	1.86	沖 縄 県
31.8	15.6	16.3	4.2	6.0	2.56	(再 掲)
24.0	10.9	13.1	3.8	7.3	1.97	東 京 都 区 部
33.7	12.9	20.8	4.9	5.5	2.42	札 幌 市
24.3	10.5	13.8	4.1	5.7	1.69	仙 台 市
20.3	10.5	9.7	3.3	5.4	1.75	さい たま 市
20.0	12.2	7.8	4.6	5.2	1.90	千 葉 市
21.6	10.2	11.4	3.9	5.7	1.81	横 浜 市
20.7	10.6	10.1	3.6	7.2	1.76	川 崎 市
19.9	8.4	11.4	3.3	5.2	2.00	相 模 原 市
24.0	9.2	14.8	4.1	4.8	1.46	新 潟 市
27.0	14.2	12.8	4.1	5.1	1.72	静 岡 市
19.7	10.2	9.5	4.3	5.2	1.72	浜 松 市
21.5	10.1	11.4	4.2	6.1	1.98	名 古 屋 市
22.8	11.1	11.6	4.3	5.3	1.88	京 都 市
24.1	10.0	14.1	4.1	6.7	2.54	大 阪 市
22.7	9.4	13.3	4.1	5.3	2.16	堺 市
20.2	10.2	9.9	2.8	5.2	1.97	神 戸 市
22.2	10.2	12.0	3.7	5.5	2.00	岡 山 市
21.4	9.5	11.9	3.6	5.8	1.91	広 島 市
30.2	9.4	20.8	3.1	5.3	2.14	北 九 州 市
25.4	11.1	14.2	5.4	6.8	2.11	福 岡 市

第10表 主な死因の死亡数・死亡率(人口10万対)、都道府県(20大都市再掲)別

都 道 府 県	全死因		02100 悪性新生物		09200 心疾患		10200 肺 炎		09300 脳血管疾患	
	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率
全 国 ¹⁾	1 253 463	993.4	357 185	283.1	194 761	154.4	124 652	98.8	123 784	98.1
北海道	56 972	1 042.1	18 130	331.6	9 390	171.8	5 505	100.7	5 288	96.7
青森	16 419	1 207.3	4 803	353.2	2 685	197.4	1 736	127.6	1 925	141.5
岩手	22 268	1 701.1	4 273	326.4	2 870	219.3	1 666	127.3	2 360	180.3
宮城	33 986	1 468.1	6 251	270.0	3 704	160.0	2 310	99.8	2 958	127.8
秋田	14 642	1 365.9	4 043	377.1	2 306	215.1	1 557	145.2	1 725	160.9
山形	14 877	1 286.9	4 012	347.1	2 288	197.9	1 601	138.5	1 908	165.1
福島	26 076	1 316.3	6 190	312.5	4 478	226.0	2 478	125.1	2 779	140.3
茨城	29 911	1 024.7	8 135	278.7	4 844	165.9	3 275	112.2	3 476	119.1
栃木	20 468	1 036.4	5 532	280.1	3 436	174.0	2 204	111.6	2 425	122.8
群馬	20 930	1 064.6	5 747	292.3	3 232	164.4	2 375	120.8	2 212	112.5
埼玉	57 669	810.3	17 422	244.8	9 775	137.3	5 941	83.5	5 787	81.3
千葉	51 683	842.4	15 278	249.0	9 193	149.8	5 190	84.6	4 984	81.2
東京都	105 708	821.4	32 114	249.5	15 808	122.8	9 868	76.7	10 278	79.9
神奈川	70 944	794.1	22 269	249.3	10 451	117.0	6 466	72.4	6 826	76.4
新潟	27 318	1 162.0	7 589	322.8	4 292	182.6	2 528	107.5	3 401	144.7
富山	12 264	1 138.7	3 408	316.4	1 790	166.2	1 319	122.5	1 368	127.0
石川	11 962	1 033.9	3 454	298.5	1 915	165.5	1 324	114.4	1 229	106.2
福井	8 761	1 104.8	2 399	302.5	1 492	188.1	1 037	130.8	800	100.9
山梨	9 358	1 106.1	2 540	300.2	1 408	166.4	911	107.7	985	116.4
長野	23 886	1 129.4	6 142	290.4	3 720	175.9	2 123	100.4	3 047	144.1
岐阜	21 054	1 033.6	5 779	283.7	3 615	177.5	2 011	98.7	2 034	99.9
静岡	37 301	1 009.8	10 229	276.9	5 725	155.0	3 111	84.2	4 105	111.1
愛知	59 719	822.3	17 588	242.2	8 449	116.3	5 437	74.9	5 715	78.7
三重	19 271	1 061.2	5 217	287.3	2 840	156.4	1 864	102.6	1 965	108.2
滋賀	11 884	852.5	3 417	245.1	2 011	144.3	1 114	79.9	1 091	78.3
京都	24 732	954.9	7 415	286.3	4 299	166.0	2 540	98.1	2 124	82.0
大阪	78 951	907.6	25 207	289.8	12 480	143.5	8 631	99.2	6 320	72.7
兵庫県	52 258	949.3	16 018	291.0	7 896	143.4	5 148	93.5	4 537	82.4
奈良	13 267	956.5	4 061	292.8	2 398	172.9	1 379	99.4	1 179	85.0
和歌山	12 310	1 243.4	3 457	349.2	2 140	216.2	1 222	123.4	996	100.6
鳥取	6 957	1 195.4	2 015	346.2	1 092	187.6	590	101.4	777	133.5
島根	9 410	1 329.1	2 543	359.2	1 476	208.5	898	126.8	970	137.0
岡山	20 408	1 061.8	5 397	280.8	3 208	166.9	2 474	128.7	2 063	107.3
広島	28 608	1 013.0	8 150	288.6	4 769	168.9	2 994	106.0	2 669	94.5
山口	17 884	1 249.8	4 888	341.6	2 980	208.2	2 172	151.8	1 760	123.0
徳島	9 435	1 215.9	2 452	316.0	1 450	186.9	1 042	134.3	914	117.8
香川	11 316	1 148.8	2 946	299.1	1 953	198.3	1 020	103.6	1 079	109.5
愛媛	16 950	1 197.0	4 550	321.3	3 129	221.0	1 761	124.4	1 688	119.2
高知	9 884	1 309.1	2 682	355.2	1 695	224.5	1 082	143.3	1 040	137.7
福岡	48 110	954.9	14 747	292.7	5 659	112.3	5 226	103.7	4 366	86.7
佐賀	9 472	1 123.6	2 849	338.0	1 413	167.6	1 120	132.9	920	109.1
長崎	16 645	1 179.7	4 763	337.6	2 643	187.3	1 996	141.5	1 497	106.1
熊本	20 008	1 108.5	5 312	294.3	3 183	176.3	2 089	115.7	1 933	107.1
大分	13 805	1 166.9	3 749	316.9	2 100	177.5	1 433	121.1	1 391	117.6
宮崎	12 980	1 151.7	3 481	308.9	2 242	198.9	1 423	126.3	1 379	122.4
鹿児島	21 047	1 243.2	5 528	326.5	3 153	186.2	2 428	143.4	2 457	145.1
沖縄	10 686	767.1	2 837	203.7	1 528	109.7	932	66.9	916	65.8
外国	198	.	32	.	22	.	7	.	12	.
(再掲)										
東京都区部	72 599	809.6	22 012	245.5	10 874	121.3	6 517	72.7	6 941	77.4
札幌市	15 926	828.6	5 324	277.0	2 418	125.8	1 472	76.6	1 367	71.1
仙台市	8 854	844.0	2 309	220.1	1 183	112.8	726	69.2	894	85.2
さいたま市	8 777	714.2	2 700	219.7	1 528	124.3	810	65.9	834	67.9
千葉市	7 244	752.2	2 257	234.4	1 174	121.9	739	76.7	684	71.0
横浜市	28 249	765.1	9 020	244.3	4 106	111.2	2 532	68.6	2 658	72.0
川崎市	9 684	676.7	2 997	209.4	1 505	105.2	867	60.6	941	65.8
相模原市	5 045	701.7	1 572	218.6	849	118.1	470	65.4	500	69.5
新潟市	7 798	960.3	2 349	289.3	1 174	144.6	752	92.6	847	104.3
静岡市	7 329	1 025.0	2 090	292.3	1 179	164.9	561	78.5	764	106.9
浜松市	7 304	914.1	1 910	239.0	1 057	132.3	619	77.5	837	104.8
名古屋市	19 594	864.3	5 880	259.4	2 860	126.2	1 804	79.6	1 797	79.3
京都市	13 622	924.8	4 153	281.9	2 336	158.6	1 405	95.4	1 108	75.2
大阪市	26 681	998.9	8 247	308.8	3 672	137.5	3 024	113.2	2 198	82.3
堺市	7 394	877.1	2 368	280.9	1 259	149.3	792	94.0	637	75.6
神戸市	14 289	925.5	4 466	289.2	2 063	133.6	1 378	89.2	1 122	72.7
岡山市	6 167	867.4	1 737	244.3	933	131.2	673	94.7	588	82.7
広島市	9 409	798.7	2 810	238.5	1 533	130.1	936	79.5	816	69.3
北九州市	10 380	1 065.7	3 271	335.8	1 321	135.6	1 061	108.9	954	97.9
福岡市	10 456	707.0	3 328	225.0	1 133	76.6	1 076	72.8	818	55.3

注：1)全国値には、住所地不詳を含む。

20100 不慮の事故		18100 老 衰		20200 自 殺		14200 腎 不 全		10400 慢性閉塞性肺疾患		11300 肝 疾 患		都 道 府 県
死亡数	死亡率	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率	
59 596	47.2	52 207	41.4	28 874	22.9	24 493	19.4	16 620	13.2	16 362	13.0	全 国 ¹⁾
1 684	30.8	1 457	26.7	1 311	24.0	1 524	27.9	684	12.5	653	11.9	北 海 道
485	35.7	629	46.3	356	26.2	432	31.8	171	12.6	216	15.9	青 森 県
6 160	470.6	733	56.0	370	28.3	325	24.8	225	17.2	177	13.5	岩 手 県
11 204	484.0	1 366	59.0	480	20.7	496	21.4	269	11.6	275	11.9	宮 城 県
535	49.9	605	56.4	346	32.3	329	30.7	127	11.8	147	13.7	秋 田 県
534	46.2	780	67.5	264	22.8	328	28.4	190	16.4	137	11.9	山 形 県
2 570	129.7	1 251	63.1	502	25.3	468	23.6	356	18.0	266	13.4	福 島 県
1 030	35.3	1 301	44.6	682	23.4	532	18.2	405	13.9	376	12.9	茨 城 県
594	30.1	984	49.8	479	24.3	398	20.2	274	13.9	263	13.3	栃 木 県
672	34.2	781	39.7	476	24.2	395	20.1	328	16.7	259	13.2	群 馬 県
1 531	21.5	1 934	27.2	1 583	22.2	1 062	14.9	699	9.8	829	11.6	埼 玉 県
1 593	26.0	2 125	34.6	1 367	22.3	945	15.4	622	10.1	635	10.4	千 葉 県
2 745	21.3	4 186	32.5	2 910	22.6	1 760	13.7	1 454	11.3	1 800	14.0	東 京 都
2 499	28.0	3 174	35.5	1 872	21.0	1 094	12.2	968	10.8	1 234	13.8	神 奈 川 県
1 099	46.7	1 448	61.6	649	27.6	463	19.7	316	13.4	268	11.4	新 潟 県
533	49.5	536	49.8	271	25.2	240	22.3	164	15.2	115	10.7	富 山 県
459	39.7	530	45.8	261	22.6	227	19.6	145	12.5	125	10.8	石 川 県
364	45.9	359	45.3	146	18.4	150	18.9	112	14.1	103	13.0	福 井 県
323	38.2	556	65.7	212	25.1	157	18.6	123	14.5	122	14.4	山 梨 県
889	42.0	1 574	74.4	492	23.3	383	18.1	306	14.5	248	11.7	長 野 県
814	40.0	1 185	58.2	460	22.6	415	20.4	304	14.9	229	11.2	岐 阜 県
1 294	35.0	2 609	70.6	831	22.5	786	21.3	469	12.7	390	10.6	静 岡 県
2 024	27.9	2 845	39.2	1 481	20.4	1 154	15.9	701	9.7	760	10.5	愛 知 県
813	44.8	1 194	65.7	359	19.8	383	21.1	287	15.8	200	11.0	三 重 県
455	32.6	474	34.0	309	22.2	254	18.2	190	13.6	116	8.3	滋 賀 県
553	21.4	913	35.3	520	20.1	500	19.3	414	16.0	268	10.3	京 都 府
2 345	27.0	1 984	22.8	1 947	22.4	1 583	18.2	1 136	13.1	1 472	16.9	大 阪 府
1 807	32.8	2 102	38.2	1 256	22.8	1 019	18.5	754	13.7	709	12.9	兵 庫 県
369	26.6	511	36.8	242	17.4	273	19.7	179	12.9	182	13.1	奈 良 県
446	45.1	709	71.6	236	23.8	284	28.7	208	21.0	176	17.8	和 歌 山 県
217	37.3	407	69.9	148	25.4	126	21.6	71	12.2	83	14.3	鳥 取 県
305	43.1	522	73.7	186	26.3	168	23.7	155	21.9	104	14.7	島 根 県
798	41.5	905	47.1	388	20.2	402	20.9	295	15.3	220	11.4	岡 山 県
1 006	35.6	1 292	45.8	553	19.6	661	23.4	418	14.8	355	12.6	広 島 県
517	36.1	789	55.1	344	24.0	383	26.8	227	15.9	215	15.0	山 口 県
331	42.7	454	58.5	146	18.8	217	28.0	147	18.9	146	18.8	徳 島 県
395	40.1	512	52.0	239	24.3	251	25.5	145	14.7	117	11.9	香 川 県
647	45.7	828	58.5	305	21.5	375	26.5	211	14.9	179	12.6	愛 媛 県
370	49.0	300	39.7	196	26.0	261	34.6	123	16.3	119	15.8	高 知 県
1 727	34.3	1 394	27.7	1 224	24.3	978	19.4	663	13.2	668	13.3	福 岡 県
343	40.7	324	38.4	172	20.4	184	21.8	117	13.9	112	13.3	佐 賀 県
511	36.2	614	43.5	320	22.7	342	24.2	219	15.5	189	13.4	長 崎 県
639	35.4	886	49.1	414	22.9	448	24.8	288	16.0	248	13.7	熊 本 県
503	42.5	570	48.2	251	21.2	303	25.6	210	17.8	148	12.5	大 分 県
424	37.6	486	43.1	312	27.7	285	25.3	202	17.9	172	15.3	宮 崎 県
720	42.5	733	43.3	411	24.3	524	31.0	311	18.4	260	15.4	鹿 児 島 県
289	20.7	347	24.9	378	27.1	204	14.6	227	16.3	239	17.2	沖 縄 県
13	.	4	.	9	.	1	.	1	.	3	.	外 国
2 020	22.5	2 821	31.5	2 051	22.9	1 211	13.5	1 061	11.8	1 304	14.5	(再 掲)
448	23.3	256	13.3	434	22.6	408	21.2	180	9.4	184	9.6	東 京 都 区 部
1 010	96.3	419	39.9	207	19.7	164	15.6	99	9.4	103	9.8	札 幌 市
224	18.2	279	22.7	267	21.7	159	12.9	118	9.6	108	8.8	仙 台 市
203	21.1	244	25.3	181	18.8	135	14.0	73	7.6	101	10.5	さいたま市
1 038	28.1	1 322	35.8	745	20.2	459	12.4	344	9.3	550	14.9	千 葉 市
372	26.0	357	24.9	284	19.8	126	8.8	119	8.3	196	13.7	横 浜 市
141	19.6	186	25.9	165	22.9	66	9.2	83	11.5	89	12.4	川 崎 市
294	36.2	354	43.6	180	22.2	149	18.3	93	11.5	73	9.0	相 模 原 市 ²⁾
227	31.7	478	66.9	164	22.9	123	17.2	102	14.3	72	10.1	新 潟 市
256	32.0	620	77.6	151	18.9	184	23.0	61	7.6	72	9.0	静 岡 市
594	26.2	753	33.2	479	21.1	363	16.0	232	10.2	253	11.2	浜 松 市
297	20.2	480	32.6	300	20.4	250	17.0	228	15.5	159	10.8	名 古 屋 市
915	34.3	623	23.3	687	25.7	556	20.8	442	16.5	649	24.3	京 都 市
200	23.7	173	20.5	189	22.4	144	17.1	102	12.1	112	13.3	大 阪 市
510	33.0	557	36.1	354	22.9	264	17.1	197	12.8	192	12.4	堺 市
225	31.6	250	35.2	144	20.3	126	17.7	74	10.4	69	9.7	神 戸 市
332	28.2	412	35.0	202	17.1	212	18.0	127	10.8	124	10.5	岡 山 市
363	37.3	260	26.7	229	23.5	227	23.3	138	14.2	157	16.1	広 島 市
356	24.1	268	18.1	328	22.2	175	11.8	131	8.9	154	10.4	北 九 州 市
												福 岡 市

合計特殊出生率について

1. 期間合計特殊出生率とコーホート合計特殊出生率

○ 合計特殊出生率は「15～49歳までの女性の年齢別出生率を合計したもの」で、次の2つの種類があり、一人の女性がその年齢別出生率で一生の間に生むとしたときの子どもの数に相当する。

A 「期間」合計特殊出生率

ある期間（1年間）の出生状況に着目したもので、その年における各年齢（15～49歳）の女性の出生率を合計したもの。

女性人口の年齢構成の違いを除いた「その年の出生率」であり、年次比較、国際比較、地域比較に用いられている。

B 「コーホート」合計特殊出生率

ある世代の出生状況に着目したもので、同一世代生まれ（コーホート）の女性の各年齢（15～49歳）の出生率を過去から積み上げたもの。

「その世代の出生率」である。

○ 実際に「一人の女性が一生の間に生む子どもの数」はBのコーホート合計特殊出生率であるが、この値はその世代が50歳に到達するまで得られないため、それに相当するものとしてAの期間合計特殊出生率が一般に用いられている。

なお、各年齢別の出生率が世代（コーホート）によらず同じであれば、この二つの「合計特殊出生率」は同じ値になる。

○ ただし、晩婚化・晩産化が進行している状況等、各世代の結婚や出産の行動に違いがあり、各年齢の出生率が世代により異なる場合には、別々の世代の年齢別出生率の合計であるAの期間合計特殊出生率は、同一世代のBのコーホート合計特殊出生率の値と異なることに注意が必要である。

2. 平成23年における状況

コーホート合計特殊出生率は同一世代の女性の出生率を過去から積み上げるため、その世代が50歳になるまで得られないが、現段階で得られる到達年齢までのコーホート合計特殊出生率を、5歳階級ごとに1つの世代とみて、5年ごとの出生率を合計し、算出した*）。

例えば1972～1976年生まれ（平成23年における35～39歳の世代）についての39歳までのコーホート合計特殊出生率は約1.39であるが、40歳以降も出産するので、実際にこの世代の「一人の女性が一生の間に生む子どもの数」は、1.39に今後の40歳以上での出生率を加えた値となり、晩産化の進行により40歳以上の出生率が上昇傾向であることから、少なくとも平成23年の期間合計特殊出生率（1.39）を上回ると見込まれる。

*）各年の各年齢別出生率を合計したより精密なコーホート合計特殊出生率は国立社会保障・人口問題研究所で算出されている。

① 期間合計特殊出生率の年次推移(年齢階級別内訳)

	昭和56年 (1981)	61年 (1986)	平成3年 (1991)	8年 (1996)	13年 (2001)	18年 (2006)	平成23年 (2011)
母の年齢	1.74	1.72	1.53	1.43	1.33	1.32	1.39
15～19歳	0.0196	0.0196	0.0188	0.0188	0.0289	0.0250	0.0227
20～24	0.3697	0.3016	0.2244	0.1988	0.1980	0.1871	0.1710
25～29	0.9074	0.8557	0.6956	0.5631	0.4782	0.4353	0.4349
30～34	0.3669	0.4473	0.4722	0.4895	0.4425	0.4516	0.4836
35～39	0.0693	0.0891	0.1115	0.1395	0.1659	0.1886	0.2390
40～44	0.0082	0.0094	0.0118	0.0155	0.0199	0.0286	0.0408
45～49	0.0003	0.0003	0.0003	0.0004	0.0005	0.0007	0.0011

② 各世代別(コホート)にみた母の年齢階級別出生率(ごく粗い計算)

	1962-1966	1967-1971	1972-1976	1977-1981	1982-1986	1987-1991	1992-1996
母の年齢	45～49歳の世代	40～44歳の世代	35～39歳の世代	30～34歳の世代	25～29歳の世代	20～24歳の世代	15～19歳の世代
15～19歳	0.0196	0.0196	0.0188	0.0188	0.0289	0.0250	0.0227
20～24	0.3016	0.2244	0.1988	0.1980	0.1871	0.1710	
25～29	0.6956	0.5631	0.4782	0.4353	0.4349		
30～34	0.4895	0.4425	0.4516	0.4836			
35～39	0.1659	0.1886	0.2390				
40～44	0.0286	0.0408					
45～49	0.0011						
コホート 合計特殊出生率	1.70	1.48	1.39	1.14	0.65	0.20	0.02

③ コホート合計特殊出生率(母の到達年齢別)(ごく粗い計算)

	1962-1966	1967-1971	1972-1976	1977-1981	1982-1986	1987-1991	1992-1996
母の年齢	45～49歳の世代	40～44歳の世代	35～39歳の世代	30～34歳の世代	25～29歳の世代	20～24歳の世代	15～19歳の世代
15～19歳	0.02	0.02	0.02	0.02	0.03	0.03	0.02
15～24	0.32	0.24	0.22	0.22	0.22	0.20	
15～29	1.02	0.81	0.70	0.65	0.65		
15～34	1.51	1.25	1.15	1.14			
15～39	1.67	1.44	1.39				
15～44	1.70	1.48					
15～49	1.70						

*「15～19歳の世代」は、平成4～8年生まれ、「20～24歳の世代」は、昭和62年～平成3年生まれ、
「25～29歳の世代」は、昭和57～61年生まれ、「30～34歳の世代」は、昭和52～56年生まれ、
「35～39歳の世代」は、昭和47～51年生まれ、「40～44歳の世代」は、昭和42～46年生まれ、
「45～49歳の世代」は、昭和37～41年生まれ。

3. 出生数の動向と(期間)合計特殊出生率の動向の関係

○ 出生数は、次の式のように「女性人口（15～49歳）」と「(期間)合計特殊出生率」、「(15～49歳女性人口の)年齢構成の違い」の3つの要素に分解できる。以下、この3要素を「女性人口」、「合計特殊出生率」、「年齢構成の違い」とする。

$$\text{出生数} = \text{女性人口 (15～49歳)} \times \frac{\text{(期間)合計特殊出生率}}{35^{1)}} \times \text{(15～49歳女性人口の)年齢構成の違い}^{2)}$$

出生数がこのように3要素に分解できることから、出生数の動向は、「合計特殊出生率」の動向だけでなく、「女性人口」と「年齢構成の違い」の動向の影響を受ける。

平成22年	107.1万人	=	2,653万人	×	$\frac{1.39}{35}$	×	1.019
	↓ △1.9%		↓ △0.7%		↓ 0.4%		↓ △1.6%
平成23年	105.1万人	=	2,634万人	×	$\frac{1.39}{35}$	×	1.002

※平成22年の合計特殊出生率を用いると、平成23年の出生数は前年より△2.3%であったと見込まれる。

平成22年から平成23年の動向をみると、「女性人口」が減少し、「年齢構成の違い」も低下したため、「合計特殊出生率」が上昇したものの、出生数が減少したことが分かる。

同様に、昭和45年以降の3要素の動向をみると次頁の通りであるが、

- (1) 「女性人口」は平成9年から減少傾向にある。
- (2) 「合計特殊出生率」は、平成17年まで低下傾向で推移したが、平成18年に上昇傾向に転じた。
- (3) 「年齢構成の違い」は、昭和51年、平成3年、16年を境に増減を繰り返し、16年以降は低下傾向にある。

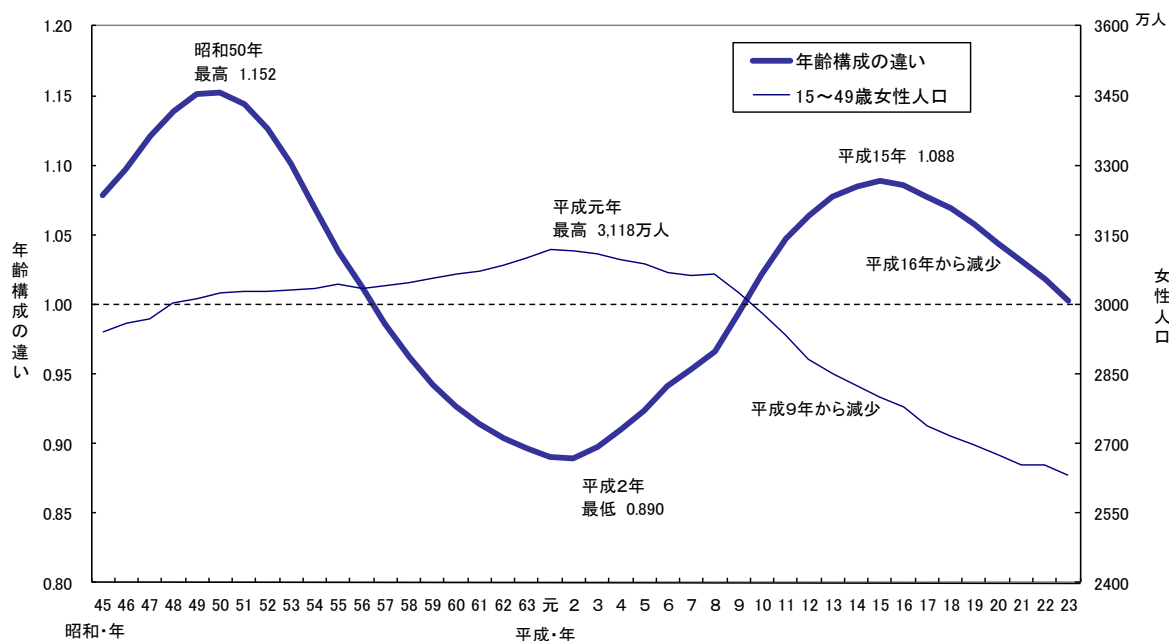
「女性人口」の減少傾向と「年齢構成の違い」の低下傾向は今後も続くことから、「合計特殊出生率」が変わらなければ、出生数は今後も減少することになる。

注：1) (期間)合計特殊出生率は15～49までの35個の年齢別出生率を加えたものであるため、女性人口（15～49歳）を乗じて出生数となるように35で除している。

2) 「年齢構成の違い」は、「女性人口」×「合計特殊出生率」/35が「15～49歳のどの年齢の女性の人数も同じとした場合に当該合計特殊出生率で見込まれる出生数」となることから、「実際の年齢構成がどの年齢の女性の人数も同じという年齢構成とどのくらい違うか表すもの」である。

「年齢構成の違い」は、出生率の高い年齢の女性の人数が出生率の低い年齢の女性の人数より多い場合には1より大きく、少ない場合には1より小さくなる。

「女性人口(15～49歳)」と「年齢構成の違い」の動向



年次	実 数				対前年増減率 (%)			
	出 生 数 ①×②/35×③	15～49歳 女性人口 (千人) ①	合計特殊 出生率 ②	年齢構成 の 違 い ③	出 生 数	15～49歳 女性人口 (千人) ①	合計特殊 出生率 ②	年齢構成 の 違 い ③
昭和 45 年	1 934 239	29 400	2.13	1.079
46	2 000 973	29 589	2.16	1.097	3.5	0.6	1.1	1.7
47	2 038 682	29 700	2.14	1.122	1.9	0.4	△ 0.7	2.2
48	2 091 983	30 035	2.14	1.139	2.6	1.1	△ 0.1	1.6
49	2 029 989	30 128	2.05	1.151	△ 3.0	0.3	△ 4.3	1.1
50	1 901 440	30 251	1.91	1.152	△ 6.3	0.4	△ 6.8	0.1
51	1 832 617	30 271	1.85	1.144	△ 3.6	0.1	△ 3.0	△ 0.7
52	1 755 100	30 289	1.80	1.126	△ 4.2	0.1	△ 2.8	△ 1.6
53	1 708 643	30 319	1.79	1.101	△ 2.6	0.1	△ 0.5	△ 2.2
54	1 642 580	30 351	1.77	1.071	△ 3.9	0.1	△ 1.2	△ 2.8
55	1 576 889	30 438	1.75	1.038	△ 4.0	0.3	△ 1.3	△ 3.0
56	1 529 455	30 333	1.74	1.013	△ 3.0	△ 0.3	△ 0.3	△ 2.4
57	1 515 392	30 404	1.77	0.986	△ 0.9	0.2	1.6	△ 2.7
58	1 508 687	30 463	1.80	0.963	△ 0.4	0.2	1.7	△ 2.3
59	1 489 780	30 549	1.81	0.942	△ 1.3	0.3	0.6	△ 2.1
60	1 431 577	30 644	1.76	0.927	△ 3.9	0.3	△ 2.6	△ 1.6
61	1 382 946	30 726	1.72	0.914	△ 3.4	0.3	△ 2.3	△ 1.4
62	1 346 658	30 834	1.69	0.904	△ 2.6	0.4	△ 1.9	△ 1.1
63	1 314 006	30 983	1.66	0.896	△ 2.4	0.5	△ 2.0	△ 0.9
平成 元 年	1 246 802	31 177	1.57	0.890	△ 5.1	0.6	△ 5.1	△ 0.6
2	1 221 585	31 154	1.54	0.890	△ 2.0	△ 0.1	△ 1.9	△ 0.1
3	1 223 245	31 094	1.53	0.897	0.1	△ 0.2	△ 0.5	0.9
4	1 208 989	30 974	1.50	0.910	△ 1.2	△ 0.4	△ 2.1	1.4
5	1 188 282	30 865	1.46	0.924	△ 1.7	△ 0.4	△ 2.9	1.6
6	1 238 328	30 681	1.50	0.942	4.2	△ 0.6	2.9	1.9
7	1 187 064	30 614	1.42	0.954	△ 4.1	△ 0.2	△ 5.2	1.3
8	1 206 555	30 651	1.43	0.967	1.6	0.1	0.2	1.3
9	1 191 665	30 249	1.39	0.993	△ 1.2	△ 1.3	△ 2.6	2.8
10	1 203 147	29 809	1.38	1.021	1.0	△ 1.5	△ 0.3	2.8
11	1 177 669	29 330	1.34	1.047	△ 2.1	△ 1.6	△ 3.0	2.6
12	1 190 547	28 821	1.36	1.064	1.1	△ 1.7	1.3	1.6
13	1 170 662	28 513	1.33	1.077	△ 1.7	△ 1.1	△ 1.9	1.3
14	1 153 855	28 240	1.32	1.085	△ 1.4	△ 1.0	△ 1.1	0.7
15	1 123 610	27 998	1.29	1.088	△ 2.6	△ 0.9	△ 2.1	0.4
16	1 110 721	27 773	1.29	1.086	△ 1.1	△ 0.8	△ 0.1	△ 0.2
17	1 062 530	27 385	1.26	1.078	△ 4.3	△ 1.4	△ 2.2	△ 0.8
18	1 092 674	27 165	1.32	1.069	2.8	△ 0.8	4.5	△ 0.8
19	1 089 818	26 982	1.34	1.057	△ 0.3	△ 0.7	1.5	△ 1.1
20	1 091 156	26 757	1.37	1.044	0.1	△ 0.8	2.2	△ 1.2
21	1 070 035	26 531	1.37	1.032	△ 1.9	△ 0.8	0.1	△ 1.2
22	1 071 304	26 535	1.39	1.019	0.1	0.0	1.4	△ 1.3
23	1 050 698	26 337	1.39	1.002	△ 1.9	△ 0.7	0.4	△ 1.6

注：1) 「合計特殊出生率」の転換年は昭和49年
 2) 「年齢構成の違い」の転換年は昭和51年、平成3年、平成16年
 3) 「15～49歳女性人口」の転換年は平成9年

人口動態総覧（率）の国際比較

国名	出生率 (人口千対)		死亡率 (人口千対)		乳児死亡率 (出生千対)		婚姻率 (人口千対)		離婚率 (人口千対)		合計特殊 出生率	
日本	'11)	8.3	'11)	9.9	'11)	2.3	'11)	5.2	'11)	1.87	'11)	1.39
韓国	'11)	9.4	'11)	5.1	…		'11)	6.6	'11)	2.3	'11)	1.24
シンガポール	'10)	9.3	'10)	4.4	'10)	2.0	'10)	6.1	'10)	1.9	'10)	1.15
アメリカ	'10)	*13.0	'09)	*7.9	'09)	*6.3	'09)	*6.8	'09)	*3.4	'10)	*1.93
フランス	'11)	*12.6	'11)	*8.6	'11)	*3.5	'11)	*3.7	'09)	2.04	'11)	*2.00
ドイツ	'10)	*8.3	'10)	*10.5	'10)	*3.5	'10)	*4.7	'10)	2.27	'08)	1.38
イタリア	'10)	*9.3	'10)	*9.7	'10)	*3.4	'10)	*3.6	'09)	0.90	'09)	1.41
スウェーデン	'10)	12.3	'10)	9.6	'10)	2.5	'10)	5.4	'10)	2.52	'09)	1.94
イギリス	'10)	*12.5	'10)	*9.0	'09)	*4.7	'03)	5.1	'09)	*2.05	'08)	1.96

注：*印は暫定値である。

資料：(1) 日本は、人口動態統計月報年計（概数）の概況

(2) 韓国は、韓国統計庁資料

(3) シンガポールは、シンガポール統計局資料

(4) アメリカは、NCHS, National Vital Statistics Reports

(5) フランスは、フランス国立統計経済研究所資料

(6) ヨーロッパの各国は、UN, Demographic Yearbook 2006-2010

分母に用いた人口

① 年齢5歳階級・男女別（日本人人口）

年齢階級	総数	男	女
総数	126 180 000	61 453 000	64 727 000
0～4歳	5 255 000	2 691 000	2 564 000
5～9	5 446 000	2 788 000	2 658 000
10～14	5 865 000	3 004 000	2 861 000
15～19	6 009 000	3 086 000	2 923 000
20～24	6 169 000	3 160 000	3 008 000
25～29	7 004 000	3 570 000	3 435 000
30～34	7 897 000	4 018 000	3 879 000
35～39	9 545 000	4 855 000	4 691 000
40～44	9 155 000	4 640 000	4 515 000
45～49	7 837 000	3 950 000	3 887 000
50～54	7 546 000	3 779 000	3 768 000
55～59	8 247 000	4 095 000	4 152 000
60～64	10 573 000	5 189 000	5 384 000
65～69	7 819 000	3 738 000	4 081 000
70～74	7 151 000	3 321 000	3 830 000
75～79	6 122 000	2 670 000	3 452 000
80～84	4 481 000	1 758 000	2 723 000
85～89	2 617 000	825 000	1 792 000
90～94	1 079 000	252 000	827 000
95～99	316 000	59 000	258 000
100～	47 000	6 000	40 000

資料：人口推計「平成23年10月1日現在推計人口」（総務省統計局）

② 都道府県・男女別人口（日本人人口）

都道府県	総数	男	女
全 国	126 180 000	61 453 000	64 727 000
北海道	5 467 000	2 584 000	2 883 000
青森	1 360 000	639 000	720 000
岩手	1 309 000	626 000	683 000
宮城	2 315 000	1 125 000	1 190 000
秋田	1 072 000	504 000	568 000
山形	1 156 000	556 000	600 000
福島	1 981 000	964 000	1 017 000
茨城	2 919 000	1 456 000	1 463 000
栃木	1 975 000	982 000	992 000
群馬	1 966 000	969 000	998 000
埼玉	7 117 000	3 573 000	3 544 000
千葉	6 135 000	3 062 000	3 072 000
東京	12 869 000	6 372 000	6 497 000
神奈川	8 934 000	4 487 000	4 448 000
新潟	2 351 000	1 138 000	1 213 000
富山	1 077 000	520 000	557 000
石川	1 157 000	559 000	598 000
福井	793 000	384 000	409 000
山梨	846 000	415 000	431 000
長野	2 115 000	1 030 000	1 085 000
岐阜	2 037 000	988 000	1 050 000
静岡	3 694 000	1 820 000	1 874 000
愛知	7 262 000	3 633 000	3 629 000
三重	1 816 000	885 000	932 000
滋賀	1 394 000	688 000	705 000
京都	2 590 000	1 243 000	1 346 000
大阪	8 699 000	4 205 000	4 494 000
兵庫	5 505 000	2 633 000	2 872 000
奈良	1 387 000	656 000	730 000
和歌山	990 000	466 000	524 000
鳥取	582 000	278 000	304 000
島根	708 000	339 000	369 000
岡山	1 922 000	923 000	999 000
広島	2 824 000	1 363 000	1 460 000
山口	1 431 000	675 000	756 000
徳島	776 000	369 000	407 000
香川	985 000	475 000	510 000
愛媛	1 416 000	666 000	750 000
高知	755 000	355 000	401 000
福岡	5 038 000	2 378 000	2 660 000
佐賀	843 000	397 000	446 000
長崎	1 411 000	659 000	752 000
熊本	1 805 000	849 000	956 000
大分	1 183 000	559 000	624 000
宮崎	1 127 000	529 000	598 000
鹿児島	1 693 000	792 000	901 000
沖縄	1 393 000	683 000	710 000

資料：人口推計「平成23年10月1日現在推計人口」（総務省統計局）

20大都市・男女別人口（総人口）

20大都市 (再掲)	総数	男	女
東京都区部	8 966 679	4 418 812	4 547 867
札幌市	1 921 935	899 513	1 022 422
仙台市	1 049 493	509 530	539 963
さいたま市	1 229 479	614 371	615 108
千葉市	963 120	480 493	482 627
横浜市	3 691 693	1 848 158	1 843 535
川崎市	1 430 773	729 771	701 002
相模原市	719 412	361 661	357 751
新潟市	812 458	390 602	421 856
静岡市	714 513	347 732	366 781
浜松市	798 924	395 894	403 030
名古屋市	2 266 517	1 116 795	1 149 722
京都市	1 473 416	700 510	772 906
大阪市	2 670 579	1 296 084	1 374 495
堺市	842 685	404 878	437 807
神戸市	1 544 496	730 314	814 182
岡山市	710 913	341 729	369 184
広島市	1 177 711	567 231	610 480
北九州市	974 287	458 046	516 241
福岡市	1 479 433	699 866	779 567

資料：各指定都市及び東京都が推計した平成23年10月1日現在の総人口である。

(付表)
年齢調整死亡率の算出に用いた人口
基準人口（昭和60年モデル人口）

年齢階級	基準人口	年齢階級	基準人口
0～4歳	8 180 000	50～54歳	7 616 000
5～9	8 338 000	55～59	6 581 000
10～14	8 497 000	60～64	5 546 000
15～19	8 655 000	65～69	4 511 000
20～24	8 814 000	70～74	3 476 000
25～29	8 972 000	75～79	2 441 000
30～34	9 130 000	80～84	1 406 000
35～39	9 289 000	85歳以上	784 000
40～44	9 400 000		
45～49	8 651 000	総数	120 287 000

③ 年齢5歳階級別人口（日本人人口）の対前年比較

年齢階級	平成23年	平成22年	対前年増減
	人	人	人
総数	126 180 000	126 382 000	△ 202 000
0～4歳	5 255 000	5 254 000	1 000
5～9	5 446 000	5 550 000	△ 104 000
10～14	5 865 000	5 884 000	△ 19 000
15～19	6 009 000	6 029 000	△ 20 000
20～24	6 169 000	6 305 000	△ 136 000
25～29	7 004 000	7 155 000	△ 151 000
30～34	7 897 000	8 214 000	△ 317 000
35～39	9 545 000	9 688 000	△ 143 000
40～44	9 155 000	8 651 000	504 000
45～49	7 837 000	7 966 000	△ 129 000
50～54	7 546 000	7 608 000	△ 62 000
55～59	8 247 000	8 656 000	△ 409 000
60～64	10 573 000	10 055 000	518 000
65～69	7 819 000	8 230 000	△ 411 000
70～74	7 151 000	6 987 000	164 000
75～79	6 122 000	5 972 000	150 000
80～84	4 481 000	4 363 000	118 000
85～89	2 617 000	2 446 000	171 000
90～94	1 079 000	1 026 000	53 000
95～99	316 000	298 000	18 000
100～	47 000	44 000	3 000

資料：人口推計「平成23年10月1日現在推計人口」（総務省統計局）

人口推計「平成22年国勢調査による基準人口」（総務省統計局）

④ 年齢5歳階級別人口（日本人女性人口）の対前年比較

年齢階級	平成23年	平成22年	対前年増減
	人	人	人
15～19歳	2 923 000	2 932 000	△ 9 000
20～24	3 008 000	3 076 000	△ 68 000
25～29	3 435 000	3 512 000	△ 77 000
30～34	3 879 000	4 034 000	△ 155 000
35～39	4 691 000	4 761 000	△ 70 000
40～44	4 515 000	4 269 000	246 000
45～49	3 887 000	3 951 000	△ 64 000
計	26 338 000	26 535 000	△ 197 000

資料：人口推計「平成23年10月1日現在推計人口」（総務省統計局）

人口推計「平成22年国勢調査による基準人口」（総務省統計局）

○本冊子は、グリーン購入法（国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律）に基づく基本方針の判断の基準を満たす紙を使用しています。

○リサイクル適正の表示：紙へリサイクル可

本冊子は、グリーン購入法に基づく基本方針における「印刷」に係る判断の基準にしたがい、印刷用の紙へのリサイクルに適した材料〔Aランク〕のみを用いて作製しています。